

東京放射線

2012年9月

Vol.59 No.698



公益社団法人 東京都診療放射線技師会

<http://www.tart.jp/>

巻頭言

東放技は参加することに意義がある 白木 尚

会 告

第12回東放技・東京部会合同学術講演会
第14回日暮里塾ワンコインセミナー

報 告

第1回 公益社団法人 東京都放射線技師会総会（抄）
平成23年度小野賞・勤続20年表彰受賞者

特 集

祝 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

連 載

歯・顎顔面検査法 丸橋 一夫

研修会等申込書

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要求事項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

平成24年度 スローガン

一、チーム医療の推進
二、地球環境と調和した医療技術の向上
三、生涯教育・専門教育の推進

2012年
SEP

CONTENTS

目次

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 「東放技は参加することに意義がある」	4
会告1 第12回東放技・東京部会合同学術講演会	5
会告2 第14回日暮里塾ワンコインセミナー	6
会告3 第47回きめこまかな生涯教育	7
会告4 第11回城北支部研修会	8
公益社団法人日本放射線技師会の勤続30年及び50年表彰について	9
第1回 公益社団法人 東京都放射線技師会総会（抄）	10
平成23年度小野賞・勤続20年表彰受賞者	18
特集 祝 公益社団法人 東京都診療放射線技師会	19
連載 誌上講座 歯・顎顔面検査法「第3回 パノラマX線撮影法」	26
こえ	
・基礎技術講習「一般撮影」に参加して	31
・「Aiの重要性と今後の展望」を聴講して	32
・「Aiの重要性と今後の展望」に参加して	32
・城南支部研修会に参加して	33
・城南支部研修会に参加して	33
・第12回日暮里塾ワンコインセミナーに参加して	34
NEWSひろい読み	35
お知らせ	
・第6地区研修会	37
パイプライン	
・第28回日本診療放射線技師学術大会	38
・超音波画像研究会からのお知らせ	40
・平成24年度関東甲信越放射線技師学術大会	41
・日本消化器画像診断情報研究会（日消研）第3回セミナー	42
平成24年度第3回・第4回・第5回理事会報告	43
平成24年5月・6月期会員動向	48

Column & Information

・「東京放射線」7・8月合併号のお詫びと訂正	30
・イエローケーキ	43
・学術講演会・研修会等の開催予定	45
・東放技は積極的に参加します	49
・研修会等申込書	50

巻頭言



東放技は参加することに意義がある

副会長 白木 尚

平成24年5月26日に開催された公益社団法人東京都放射線技師会定期総会において、篠原健一会長が再任され同日開催された理事会にて、副会長を拝命いたしました東大病院に勤務する白木尚と申します。指名を受けて職責の重さを痛感しておりますが、非常にやりがいを感じております。

私は地区委員・地区理事・学術部理事と合計25年間技師会活動を経験してきました。東放技が大好きです！ 会長をサポートして地区活動に協力し、会の活性化のため精一杯努める所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本会は長年準備を進めてまいりました「公益社団法人」への移行登記が、本年4月1日に完了し、より社会性のある会として認知される団体となりました。さらに、5月の総会において「公益社団法人東京都“診療”放射線技師会」への名称変更を提案し承認され、新たに診療という文言が入ることとなりました。会長曰くこの名称は、“単に資格名に合わせた、ということだけではなく、患者さんに寄り添い、相談を受け、説明し、他職種からも信頼され必要とされる職能であるべき、という思いを込めた名称変更”と申しております。

一昨年前に、「画像診断における読影の補助を行うこと。」「放射線検査等に関する説明・相談を行うこと。」と厚生労働省医政局通達がありました。さらに昨今、注腸検査や静脈注射の針抜き等々、診療行為の業務拡大も検討されております。公益社団法人日本診療放射線技師会の厚生労働省への積極的な働きかけのお蔭で、チーム医療を実践するメディカルスタッフ中で、私たちの職種のポジションは少しずつ前進している印象にあります。このタイミングでの名称変更は、まさにタイムリーではないかと思っております。また、それを実践するための卒後教育・生涯学習・専門教育事業は本会のスローガンにも掲げており、公益社団法人日本診療放射線技師会と連携・協働しながら積極的に進めていく所存です。

今期、新たな名称でスタートした本会の新規事業として「災害対策委員会」を立ち上げました。昨年の大震災では、被災地への汚染測定サーベイヤの派遣、そして都内避難所におけるサーベイ活動では、ビッグサイトから味の素スタジアムまで54日間、128名の方に200単位を超えるボランティア活動にご協力いただきました。皆様のヒューマンなボランティア精神のお蔭で実施されたことに感動を覚えています。今後は、「災害対策委員会」でさらに体系的に実施できるようマニュアルの作成や支援活動の講習会等を開催するなど取り組んで行く予定です。

さて、オリンピックの精神で「オリンピックは参加することに意義がある」は有名です。第4回ロンドンオリンピック（1908）の陸上競技では、アメリカとイギリスとの対立が絶え間なく起こり、両国民の感情のもつれは収拾できないほどに悪化していました。その時に行われた教会のミサで、「このオリンピックで重要なことは、勝利することより、むしろ参加することであろう」というメッセージが語られました。このメッセージを、当時のIOC会長のクーベルタンがとりあげ、次のように述べました。「勝つことではなく、参加することに意義があるとは、至言である。人生において重要なことは、成功することではなく、努力することである。根本的なことは、征服したかどうかにあるのではなく、よく戦ったかどうかにある。」（『近代オリンピック100年の歩み』〈ベースボールマガジン社〉より）技師会活動も同じで「東放技は参加することに意義がある」のです。これは、職種の地位向上など個人で願ってもなかなか実現することは困難ですが、一人ひとりの思いが集まれば力となり前に進んでいけます。

今後とも公益社団法人東京都診療放射線技師会に対して、皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

第12回 公益社団法人 東京都診療放射線技師会 合同学術講演会 公益社団法人 日本放射線技術学会東京部会 テーマ：「診療放射線技師による読影補助を考える」

東京部会と東京都診療放射線技師会の合同事業であります合同学術講演会を下記の内容で開催いたします。今回のテーマは「診療放射線技師による読影補助を考える」といたしました。

平成23年3月19日に厚生労働省「チーム医療の推進に関する検討会」はチーム医療の推進についての取りまとめを行い、その中で診療放射線技師に関して専門性を生かす観点から画像診断等における読影の補助や放射線検査等に関する説明・相談を行うことに活用を促すべきであるとしています。

既に超音波検査、消化管検査、マンモグラフィにおいてはレポート作成（一次読影）作業を行っている施設もありますが、今後、他のモダリティへとさらに拡大していくことと思います。

そこで今回の講演会では、読影補助について考えるとともに放射線科医師からみた診療放射線技師に必要な画像診断知識を習得できる講演会を企画いたしました。多くの皆様の参加をお待ちしています。

記

開 催 日：平成24年9月13日（木曜日）19時00分～20時30分（受付18時30分～）

会 場：東邦大学医療センター大橋病院 教育棟1階臨床講堂
東京都目黒区大橋2-17-6 03-3468-1251

交 通：JR山手線 渋谷駅南口より三軒茶屋方面バス 大橋バス停下車、徒歩3分
東急田園都市線（営団半蔵門線より直通あり）池尻大橋駅下車、徒歩6分
東急東横線（営団地下鉄日比谷線）中目黒駅より大橋バス停下車、徒歩3分
京王井の頭線駒場東大前駅下車、徒歩10分

プログラム：講演1 「読影の補助を考える」 昭和大学藤が丘病院 加藤 京一
講演2 「診療放射線技師による臨床現場へのさらなる参画に必要な画像診断とは何か？」

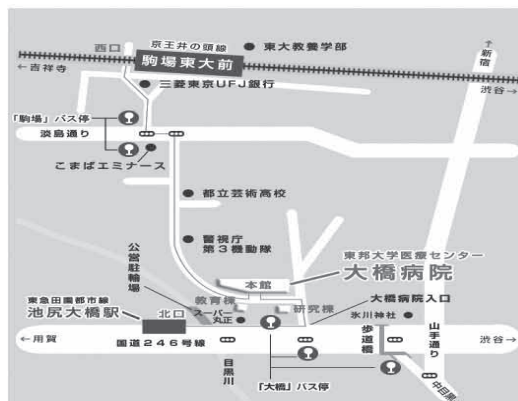
国家公務員共済組合連合会三宿病院 高田 維茂

参 加 費：会員1,000円、非会員2,000円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌巻末の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXで申し込んで下さい。なお、申込み後1週間経過しても連絡がない場合はお問合せ下さい。

問い合わせ：東放技理事（学術教育担当）市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp
公益社団法人 東京都診療放射線技師会 事務所 TEL/FAX 03-3806-7724

以上



第14回 日暮里塾ワンコインセミナーのお知らせ

テーマ：「クラウドPACSの動向」

講 師：株式会社ジェイマックスシステム マーケティング部 遠山一夫 氏

昨年3月の未曾有の大災害から約1年半が経過しました。この1年半の間、医療情報の分野で耳にする機会が増えた言葉に「事業継続性」があると思います。いわゆる電子保管の3原則という見読性や保存性にも関わる概念でありながら、一般企業に比べて医療施設では口にされることが少なかったこの言葉が、注目され始めました。

「事業継続性」に対する一つの解として医療情報のクラウド化が有効との理解があります。実際に、貴重な医療情報がクラウドによって守られた事例も報告されたことをご記憶の方も多いでしょう。

また、医療画像を考えた時にクラウドは、事業継続とは別の意味を持ちます。膨大な容量、それも年々増大していくデータの管理に頭を悩ませている施設様は少なくありません。

こうした期待感が膨らむクラウドPACSについての動向をお伝えし、さらなる議論のご参考としていただきたいと思います。

記

日 時：平成24年9月25日（火）19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人 東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

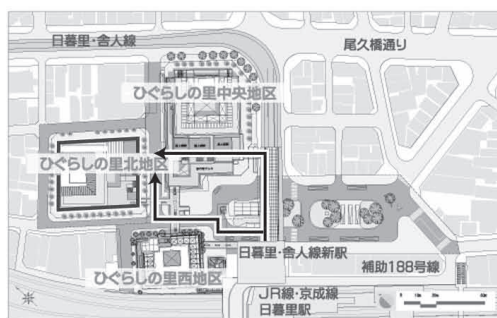
受 講 料：会員500円、非会員3,000円（当日徴収）、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌巻末の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXで申し込んで下さい。

問い合わせ：東放技理事（学術教育担当） 市川重司 Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



第47回きめこまかな生涯教育

テーマ：「医用画像」

時代の変遷とともに医用画像、医用情報に関わる専門的な技術者が必要とされております。
今回は医用画像情報技術を学んでいきたいと思います。
多くの方の参加をお待ちしております。 ※詳細なお知らせは10月号に掲載となります。

記

日 時：平成24年10月10日（水）～12日（金）19時00分～20時30分【3日間】
場 所：公益社団法人 東京都診療放射線技師会 研修センター
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505
ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分
定 員：40名（先着順）
受 講 料：会員3,000円、非会員10,000円（当日徴収）
申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌巻末の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXで申し込んで下さい。
問い合わせ：東放技理事（学術教育担当） 市川重司 Mail：gakujiu@tart.jp
公益社団法人 東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第11回 城北支部研修会

テーマ 「現代葬儀考：お葬式とお墓は誰のため？」

～「しっかり生きる」ために、いま考えたいこと～

講 師 ジャーナリスト 柿田 睦夫 氏

今回の城北支部研修会は、ジャーナリストの柿田睦夫氏をお迎えし、「葬儀」を通して「自分らしく生きる」ヒントを、たくさんお話をしていただきます。自分や身近な人のために考えるきっかけにされてはいかがでしょうか。多くの皆様の参加をお待ちしております。

～「自分らしさ」そして残される者への「思いやり」～

あなたの祖父母、両親は何歳ですか？ 実家の墓はどこにあり、将来だれが管理しますか？ そう、これは「他人事」ではないのです。「人間の尊厳をつらぬいてその時を迎えたい」「心をこめて送ってあげたい」。葬儀を考えるのは不吉なことでも不遜なことでもなく、人生をふり返り、家族を思い、そして「今後をどう生きぬくか」を考えること。当日はそんな話とともに、次のようなことにもふれてみたいと思っています。

- ★病院の「霊安室」＝すべては寝台車から始まる
- ★寝台車と霊柩車の違い＝葬儀の常識とうそ
- ★被災地の「仮埋葬」＝人々はどう葬られたのか
- ★貧困が葬儀と墓を襲う
- ★墓相（墓の人相）と占い師

記

日 時：平成24年10月26日（金）19時00分～20時30分（受付18時30分～）

場 所：公益社団法人 東京都診療放射線技師会 研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

参 加 費：診療放射線技師 1,000円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌巻末の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXで申し込んで下さい。

問い合わせ：東放技 城北支部委員会 E-Mail: shibu_jyouhoku@tart.jp

第5地区委員長（支部委員長） 本駒込クリニック 小野口敦

第6地区委員長 新葛飾病院 岡部博之

第16地区委員長 春日部市立病院 工藤年男

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

日本診療放射線技師会の 勤続30年及び50年表彰について

渉外委員会

まもなく日本診療放射線技師会より本会に対し、標記について永年勤続表彰該当者の推薦の依頼がある予定です。

今年度資格到達者は本会で調査いたしますが、調査漏れ等により平成24年9月20日までに本会から連絡がない方、または前年度までに資格到達された方で受賞の意思のある方は、お手数ですが平成24年10月1日までに東放技事務所までご連絡くだされば幸甚に存じます。

規定内容分旨

【勤続30年表彰】

1. 平成25年3月31日現在において放射線業務に従事して勤続30年以上であること。(診療エックス線または診療放射線技師免許取得が昭和58年3月31日以前の方)
2. 平成10年3月31日までに入会し引き続き日本診療放射線技師会会員であること。(15年以上継続会員)
3. 表彰される年度(24年度)までの会費を完納していること。
4. 会の名誉を傷つける行為のないこと。
5. 過去において同じ表彰を受けたことがないこと。

※ 会員番号 1 9 6 2 2 番までの方 で、旧教育会館設立のための出資または寄付をされていない方は日放技に金2万円の寄付が必要です。(30年表彰のみ)

【勤続50年表彰】

1. 前記勤続30年表彰(旧25年表彰)を受けた者で、引き続き50年に達するまでの間、会員として在籍し会費を完納した方。
2. 前項4及び5に同じ。

*必要書類

日本診療放射線技師会指定の履歴書。

第1回(公社)東京都放射線技師会定期総会(抄)

平成24年5月26日(土) 15時30分～17時00分 会場：ホテルラングウッド

司会(石田総務委員長)：時刻になりました、ただ今より第1回公益社団法人東京都放射線技師会定期総会を開催いたします。平成23年度物故会員へ黙とうをささげたいと存じます。皆様、ご起立願います。

〈 黙 祷 〉

ご着席ください。それでは初めに、篠原健一会長よりご挨拶を申し上げます。



篠原会長：皆様こんにちは。本日は、このように大勢ご出席いただきまして感謝申し上げます。またご来賓の先生方におかれましても、ご多忙にもかかわらずご出席賜りまして感謝を申し上げます。先ほど第10回ペシエントケア学術大会が滞りなく終了いたしました。こちらも多数ご参加いただきまして、非常に実りのある学術大会になったと承知しております。ご参集ありがとうございます。ご存じのとおり本会は今年の4月1日に、公益社団法人東京都放射線技師会として登記いたしました。本日は、公益社団法人



としての第1回総会ということになります。議案としましては、通常の決算報告・予算案等でございますけれども本日は大事な定款改正という議案があります。これについては詳細を後程ご説明させていただきますけれども、その中に法人名の変更という提案がございます。今まで東京都放射線技師会でしたが、私たちの職業名は診療放射線技師でございます。本日、皆様に決議をしていただきまして東京都診療放射線技師会に法人名を変更したい、と思っております。ご審議をお願いしたいと思います。また、総会終了後に公益社団法人移行の祝賀会を兼ねましたペシエントケア学術大会の情報交換会を予定しておりますので、皆様是非こちらにもご出席を頂けます

ようお願い申し上げます。それでは後程、議事の中で忌憚のないご意見をいただきたく思います。本日はよろしくお願いいたします。

司会：次にご来賓よりご祝辞を賜りたく存じます。公益社団法人日本放射線技師会会長中澤靖夫様よりご祝辞を賜りたく存じます。

中澤日放技会長：日本放射線技師会の中澤でございます。本当にお忙しい中、お集まりをいただきましてありがとうございます。ついつい自分の出身地でありますから自分で主催しているような錯覚をしてしまいます。本日は第1回公益社団法人東京都放射線技師会総会の開催をころからお祝い申し上げたいと思います。今日は3つお話しさせていただきたいと思っております。先ほど電車の中で書いてまいりました。

一つは、公益社団法人の取得に関してですが、丁度私がお預かりしている頃、3年以上前だと思うのですが小田副会長が委員長でありました。公益法人取得に向けた委員会を最初の頃は週に1回、月に2～3回と大変精力的に行っていたいただきました。最初は定款の改正案から検討し、次に公益会計について検討した経緯があります。そして長い3年という年月を経て、本日めでたく公益法人の第1回総会ということで、本当に皆様がボランティアシップを発揮して法人取得に向けてご努力なされた事に対し、心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

二つ目は、診療放射線技師はどんなイメージがあるのかということでございます。先ほど、篠原会長の方から本日の議題の中に法人名に診療を加えたいとお話いただきましたけれども、これに関連します。一般的には診療放射線技師のイメージというのは、非常に高度な画像診断装置あるいは高度な放射線治療装置を駆使し、そして技術の叡智を集め患者さんに質の高い医療の提供を行いたいというのが、今までの診療放射線技師のイメージ像ではなかろうかと思っております。しかしながら、この4月から診療報酬が改定されて外来放射線照射診療料というのが280点取れることとなりました。メディカルスタッフとして診療放射線技師あるいは看護師が患者さんを観察し、そして医師へ報告するということが含まれています。まさに診療報酬改定の留意事項の中で診療放射線技師が患者さんを観察し、照射毎に記録し、医師に報告する事が条件となりました。これからの診療放射線技師のイメージ像というのは患者さんを観察診断し、そしてその患者さんのパフォーマンスステータスを判断し、それにあった撮像シーケンスあるいはそれにあった撮影基準を決めて放射線の量と質を決定し照射



中澤日放技会長

する。そして、得られた画像の異常所見から、診療科の医師が求めている画像情報を予想し、こういう疾患だったら、こういうイメージを作ると確定診断に役立つのではないかと推論し、画像を作成する。まさに医師側の画像診断を想定した画像データを提供していく時代ではなかろうかと思っております。一番大きな違いは、患者さんを観察診断するということが求められていることではなかろうかと思っております。今までの高度な画像診断、高度な放射線治療装置を駆使するのは当たり前です。それ以上にさらに追加してそういうことをしっかりと入れて欲しいということが求められています。それがまさに国民に対する質の高い医療を提供していく前提になるのだらうと思っております。

三つ目のお話です。15%の力を結集したいということでございます。いま全国に8,800の病院が稼働しておりますけれども、色々なエビデンスを作っていくときに、やはりこのうちの1,200施設くらいのデータをきちんとまとめ、分析し解析していく。そして問題点はどこにあるのかということをしきんとまとめて、それをもとに文部科学省あるいは厚生労働省ときちんとお話ししていくことが必要なのでございます。今まさに日本放射線技師会はその15%のデータを作ろうとしているところでございます。会誌5月号を見ていただけるとお分かりになると思いますけれども、約30ページにわたる業務の実態調査が明らかになってきております。新たなアンケート調査結果では、各病院で任命されている医療器安全管理責任者の36%が診療放射線技師で占めています。今までの過去のデータは、母数が少なかったものですから30%以下だったのです。ただ本当に、1,000施設以上のデータを集めるときちんとしたデータが出てくることが分かってきましたので今度は47都道府県、特に東京都の皆様と連携しながら15%の力を結集してEBMのある資料を作成していきたいと思っております。

以上、三つのことをお話しさせていただきました。わたくしの故郷でございますので、本日は篠原会長の公益法人第1回総会でございます。一緒に皆さんと勉強しながら総会を盛り立てていきたいと思っております。以上を持って、



会場

私のお祝いの言葉とさせていただきます。本日はご参列いただきましてありがとうございました。

司会：日本放射線技師会会長、中澤様ありがとうございました。続きまして公益社団法人日本放射線技術学会東京部会会長江島光弘様にお願いいたします。

日本放射線技術学会東京部会会長代行 折館氏：始めに、技術学会の折館と申します。本日、江島部会長が所用のため託された文を読ませていただきます。公益社団法人東京都放射線技師会第1回定期総会開催、誠にありがとうございます。昨年は未曾有の自然災害とそれに端を発する原発事故で明け暮れました。すでに復興の力強い槌音は響いておりますが原発問題は今でも混沌としているのが現状であります。放射線を扱う学術団体として、特に医療や環境による放射線・放射能に対する国民の不安払拭をしていかなければならないと考えております。さて、放射線技術学の未来を考えるうえで厚生労働省から提言されました「チーム医療推進に関する放射線技師の読影補助」などのことですが色々な動機・目的が語られたとしても、とにかく是が非でも制度化されることを切望しております。今まで医師が行っていたことを放射線技師が肩代わりして補助するという程度の考えでは、医学・医療そして放射線技術学の新たな展開は望めないと考えております。すなわち、撮影と画像処理過程すべてを知る放射線技師の視点から画像所見を発するのが極めて重要だと思います。私たちは読影の補助という行為で「医師読影」の価値に近づこうとするよりも、診療放射線技師の読影という新たな価値を創造しな



東京部会会長代行折館氏

ければならないと考えております。最後に公益社団法人東京都放射線技師会のさらなる飛躍と発展をお祈り申し上げご挨拶と代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

司会：折館様ありがとうございました。次に総会議事に先立ち、表彰を執り行います。平成23年度における、小野賞・永年勤続表彰・学術奨励賞の表彰及び感謝状の贈呈を執り行います。それではそれぞれの担当委員長お願いいたします。

大室渉外担当委員長：それでは、今回表彰規定により平成23年度表彰を行います。その前に訂正をさせていただきます。総会資料2ページにそれぞれの表彰の方のお名前が載っております。その中で、20年表彰の5行目に山崎真さんと記載されておりますが山崎真一さんとなります。もう一点、その下に記載されています藤田清宜さんの施設名が東京大学病院と記載されていますが東京大学医学部附属病院に訂正をさせていただきます。記載を誤りましたこと深くお詫び申し上げます。それでは、表彰に入ります。小野賞、表彰規定第2条第4項により小野賞受賞の方々をご紹介いたします。小野賞は長年にわたり技師会・地区活動並びに地



大室渉外委員長

域医療に貢献された方々を対象に各地区からの推薦により贈られます。それでは、今年度小野賞の2名の方をご紹介します。第1地区工藤英敏さん、第4地区布施章さん以上2名の方です。

〈 会長より賞状と記念品の授与 〉

本日は大変おめでとうございます。続きまして、表彰規程第2条第1項により勤続20年表彰の方々をご紹介します。竹内務さん、藤田賢一さん、江田裕介さん、布施屋一広さん、山崎真一さん、藤田正義さん、丹野貴志さん、中西雄一さん、藤沢達二さん、根本恵子さん、大久保智史さん、市川篤志さん、川口克己さん、鈴木秀明さん、石橋康男さん、荒井一正さん、千島克夫さん、武田聡司さん、關義晃さん、伊藤美香さん、菊地勉さん以上21名の方です。代表して大久保智史さん前へお越しく下さい。

〈 会長より賞状と記念品の授与 〉

20年表彰の皆様誠にありがとうございます。

市川学術教育委員長：続いて、表彰規程第2条第3項による奨励賞に移ります。平成23年度学術奨励賞を発表します。対象となりましたのは平成23年9月に青森で行われました第27回放射線技師総合学術大会及び10月に山梨で行われました平成23年度関東甲信越放射線技師学術大会の発表の中からの選考となりました。平成23年学術奨励賞は演題名「技師読影に関する検討 ―読影技師の傾向と診断に対する影響―」発表者工藤清宜さん、所属施設東京大学医学部附属病院22世紀医療センターです。選考理由といたしまして、本発表は技師読影における傾向と診断に対する影響を研究したもので技師読影の有効性を示唆するとともに、診断精度の向上にまで言及しており、大変良く検討されています。厚労省より出された「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」で提唱されているように、今後益々注視していかなくてはならない分野であり、それに先駆けて研究発表されたことは大変重要な意味を持つと考えられます。今後も各方面での研究に取り組んでくださることを期待いたしまして学術奨励賞を贈らせていただきます。工藤清宜さん前をお願いします。



石田総務委員長

〈 会長より賞状と記念品の授与 〉

今年度表彰は以上でございます。本日は大変おめでとうございます。

司会：受賞者の皆様おめでとうございます。総会議事に

移ります前に、ご来賓の方々のご退席致しますが、中澤様は、本会監事でもありますのでそのまま着席でお願いいたします。皆様拍手でお送り願います。それでは、本総会の資格審査委員並びに総会運営委員をご紹介します。資格審査委員並びに総会運営委員は総会運営規定により各地区から選出されております。資格審査委員として、内山秀彦さん、阿蘇敏樹さん、澤田恒久さん、芦田哲也さん、柏倉賢一さん、見廣藤嗣さん、田中志穂さん、野田忠明さん、大永貴弘さん、川崎奨太さん以上10名、資格審査委員長は 田中志穂さんです。よろしくお願いします。次に総会運営委員として、中村真規さん、菊池悟さん、今野重光さん、安藤猛晴さん、宇賀神哲也さん以上5名、総会運営委員長は 安藤猛晴さんです、よろしくお願いします。それでは、資格審査委員会報告を田中志穂委員長より願います。

田中資格審査委員長：資格審査委員会よりご報告申し上げます。平成24年5月10日理事会承認時の正会員数は1797名です。総会成立会員数は本会定款17条第1項の規定により過半数の出席が必要で、899名以上であります。現時点



田中資格審査委員長

での会員出席状況をご説明いたします。総会出席者数154名、書面表決数925名、委任状428名、合計1507名従いまして、この第1回総会は成立することをご報告いたします。また、第6号議案定款の変更

を伴うために、定款17条、第2項の規程により3分の2以上の出席者1198名を越えていることを追加報告いたします。資格審査委員長 田中志穂。

司会：それでは、本総会の議長団を選出したいと存じます。会場より立候補のされる方いらっしゃいますでしょうか。

〈 会場より立候補者2名 〉

司会：立候補された方は前方へおいでください。それでは議長団よりお願い致します。

議長団：第4地区の澤田です、第1地区の平田です。

澤田議長：これより審議してまいります。第1号議案「平成23年度事業報告案」、第2号議案「平成23年度決算報告案」、第3号議案「平成23年度監査報告案」を私、澤田が、第4号議案「平成24年度事業計画案」、第5号議案「平成24年度予算書案」、第6号議案「法人名称変更を含む定款修正案」を平田副議長が担当いたします。皆様のご協力を頂き、議事を進めてまいりたいと存じます。どうぞ宜しくお願い致します。はじめに総会の運営について総会運営委員会報告を、安藤猛晴委員長より願います。

安藤総会運営委員長：総会運営委員会よりご報告申し上げます。只今の時刻は4時10分です。これより、第1号議案・平成23年度事業報告の審議を4時10分より4時40分の30分間でご審議願います。次に、第2号議案・平成23年度決算



安藤総会運営委員長

報告の審議を5時40分より6時10分の30分間でご審議願います。次に、第5号議案・平成24年度予算書の審議を6時10分より6時40分の30分間でご審議願います。次に、第6号議案・法人名称変更を含む定款修正の審議を6時40分より7時10分の30分間でご審議願います。会員の皆様方の活発なご意見とご協力をお願い致します。総会運営委員長安藤猛晴。

澤田議長：ご報告ありがとうございました。只今の報告について、異議はございませんでしょうか。異議が無いようですので、報告の通り議事を進めさせていただきます。尚、議事に入ります前に、総会職員の任命についてお諮り致します。総会職員については、総会準備委員名簿がすでに総会資料に掲載されておりますが、この場で改めて議長団よりご指名し、皆様の拍手をもって、承認を得たいと存じます。異議ございませんでしょうか。異議がないようですので、指名をさせていただきます。はじめに、書記・写真・記録係として内藤哲也さん、岩井譜憲さん、森美加さん、中谷麗さん、浅野幸さん、柴山豊喜さん、高橋克行さん以上7名の方々です。続いて、会場係として高野修彰さん、松田紗代子さん、浅沼芳明さん、以上3名の方々です。次に採決係として岡部圭吾さん、高瀬正さん、秋田敬子さん、雨宮広明さん、河内康志さん、吉井伸之さん以上6名の方々です。最後に本日の議事録署名人は議長の澤田及び全出席理事となります。それでは以上の総会職員について拍手をもって



左：澤田議長、右：平田副議長

ご承認願います。ありがとうございました。つづきまして議事の進め方についてお諮り致します。議案ごとに審議し、採決を行いたいと存じます。なお、採決の方法は、反対、保留、賛成の順で挙手をもって行いたいと存じますが、異議ございませんでしょうか。異議がないようですので、議事に入ります。第1号議案平成23年度事業報告を議題と致します。それでは執行部より報告願います。

篠原会長：議案のほうは、会誌またお手元の総会資料にも掲載され既にお目を通していただいていると思いますので

総括のみこの場でご報告させていただきます。

第1号議案平成23年度事業総括 東日本大震災・福島第一原子力発電所事故から一年。私たち診療放射線技師は、昨年の3月以来、被災地や東京都内の避難所における放射線

サーベイ活動を実施し、福島第一原子力発電所5・6号機内救急医療室への診療放射線技師派遣を行ってきた。このようなことは二度と起きてはならないが、結果的に医療現場だけではなく、私たちに求められている放射線専門技術者としての社会的責任を強く考えさせられる一年であった。リーマンショック以降の世界同時不況、欧州金融危機、中東の春、国内有名企業の粉飾不祥事、TPP問題などの情勢は、私たちに対して自己中心的な生き方、企業利益中心的な事業運営、国家利益中心的な戦略の見直しが求められているといえる。社会的責任が叫ばれ、やさしく思いやりを持って人間・社会・地球に接していく、そういうことが強く求められているのである。コンプライアンス＝「法令遵守」と画一的に訳されて使用されることが多いが、本来は「社会の要求に柔軟に対応する」ということを表す。本会の事業もこの姿勢を根本に、平成23年度はスローガンとして1) チーム医療の推進、2) 地球環境と調和した画像診断技術の向上、3) 生涯教育・専門教育の推進、を掲げて活動を展開してきた。昨年11月に厚労省チーム医療推進会議において「診療放射線技師の業務範囲拡大」について審議・答申があり、CT・MRI検査等における留置針からの造影・抜針・止血、下部消化管検査におけるネラトンチューブの挿入・造影剤の注入等、実態として診療放射線技師が担っていた一部の医行為について「診療の補助」として



篠原会長

法的根拠が付加され、RI関連装置等も「政令で定める装置」として明確に業務範囲に位置付けられることになった。正式に取り扱える範囲が広がるということは、職能としての責任も一層明確・重大になるということでもある。このことによる国民の安全・安心な医療のために必要な研修・講習等についても、日本放射線技師会と連携しながら推進するための協議・準備を進めている。

地球環境問題で大きく取りざたされている「温暖化」だけに限らず、様々な人類活動の見直し、持続可能な社会作りが求められている。生物多様性、農業問題、新型感染症等々も含め、昨年は震災（原発災害）による電力供給不安による地方に依存する都市の脆弱性も露見した。災害から何を学び、何を见直すのか。自然を改造・支配することは不可能であり、新たな人間観・文明観に立脚した行動が求められている。「地球規模で考え足元から行動する」活動として、荒川河川敷の清掃活動、日暮里駅前の清掃活動、各職場における省エネ活動などを推進してきた。私達は、安心・安全そして納得できる医療技術の提供を求められている。常に最先端の医療技術を学び、Evidenceに基づいた医療技術＝EBMを提供する必要がある。EBMとは、①臨床的・科学的に確認されている。②施設・設備・時間などの制約を考慮している。③患者さん個別の事情や意思を

尊重した総合的判断に基づいているということである。昨年度も、各種認定技師・専門技師の育成を関連団体と連携しながら推進し、本部または各支部・地区主催の各種講演会、セミナー、勉強会を開催した。本年1月26日に東京都公益認定等審議会において、本会の公益性について「基準に適合すると認めるのが相当である」との答申が出され、



3月下旬の認定書発行を受け4月1日付けで登記を行い「公益社団法人」としてスタートした。平成20年5月の第55回総会における公益社団法人への移行決議から約4年、平成22年3月の第58回総会における定款変更決議から約2年。各地区、歴代の役員、委員、そして何よりも多大なるご協力とご理解をいただいた会員各位にあらためて感謝申し上げます。公益認定されたことは、発足以来、先輩諸氏・会員の皆様が営々と築いてきた本会の存在価値と社会貢献が基準に適合したのでであると自負している。今まで以上に都民のために会員のために本会の事業を推進する所存であり、皆様方より一層のご支援とご協力をお願い申し上げる次第である。以上です。ご審議よろしく願いいたします。

澤田議長：これより質疑に入ります。恐れ入りますが、発言者の方はスタンドマイクまでお願いいたします。また、所属地区、氏名を述べてから、発言願います。質問に対しては執行部より回答いたします。質疑はない様ですので本件について採決に入ります。採決係のみなさん準備願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数によって、平成22年度事業報告は原案の通り承認されました。続きまして、第2号議案の平成23年度決算報告を議題と致します。執行部より報告願います。

関経理委員長：経理を担当しております関と申します。よろしく願いいたします。これより平成23年度決算報告を説明させていただきます。会誌5月号の37ページから45ペ



ージ（総会資料集23ページから31ページ）が、第2号議案の決算報告となっています。これらは、公益法人の申請に関連して新たな会計基準に準拠して作成しています。今までのものとは形式が異なり前年度と当年度を比較する形となっております。皆様方には少し慣れないものとなっておりますが、これが今後、法制度に基づき都庁に提出する正式なものとなります。

まず37ページ（総会資料集23ページ）の貸借対照表よりご説明いたします。この表は法人の3月31日現在の財産状況を示しており、資産合計と負債及び正味財産の合計とが一致しております。これより先は、特徴的なものについて説明し金額については端数の読み上げを省略させていただきます。流動資産の現金預金であります。当年度は前年度に比べ68万円ほど増加しております。これは、理事、役員が節約志向で事業を推進したためとペイシェントケア学術大会が開催されなかったためと思われます。

次に、固定資産の特定資産に計上している建物と土地ですが、建物部分について前年度より67万円ほど減少しています。これは、旧事務所と等価交換された部分と新事務所の取得金額から経年的に減価償却されたものです。また、その他の固定資産の建物附属設備、什器備品は、減価償却費として計上していることが前期よりも減少している主な理由です。



次に負債の部になります。まず、前受会費は、3月中に入金されたもので収益ではなく負債として計上しています。通常は4月以降に請求しているため、前もって入金された会費は僅かであり、4万円となっています。長期借入金是新事務所取得のためのもので返済により222万の減少となっています。以上により当年度末の資産（負債及び正味財産の合計）は、8,186万円となっています。

次に、38、39ページ（総会資料集24、25ページ）に正味財産増減計算書を示しております。また、その内訳表を40、41ページ（総会資料集26、27ページ）に示しております。内訳表の右側に本来掲載の義務はないのですが、参考のために予算との差異（A-B）を掲載しました。以下、主に内訳表で予算と差異がある箇所について説明させていただきます。正会員受取会費は予算より236万円の減収となっております。しかし、賛助会員受取会費が251万円の増加となっているため、合わせますと15万円の増収となっております。研修会事業収益は会員の皆様のご協力もあり予算比で18万円の増収になりました。親睦会事業収益はボーリング大会、新春のつどいになりますが、これは

参加人数に影響を受けるために予算比で9万7千円の減収となりました。受取寄付金は、ありませんでした。ここで、38ページ（総会資料集24ページ）を見ていただきますが、事業収益は前年度にペイシエントケア学術大会が開催されたため収益があがっており、当年度との差が129万円と大きくっております。

次に40、41ページ（総会資料集26、27ページ）に戻っていただき経常費用に移りますが、事業費と管理費とに大きくわかれております。事業費は文字通り技師会の事業活動を推進するために使うもので、管理費は事務所運営や法人全般の管理に使う費用です。これまで管理費に計上していたものにも事業費の性格をもつものが相当程度含まれていると考えられることから、科目ごとに事業費、管理費の按分比率を見直しています。予算との対比でわかるとおり、全体的には節約志向で活動しており、減少しているところが多く見られます。特にホームページの管理運営を業者委託から委員会を発足し管理運営したことなどが挙げられます。まず事業費から特徴のあるところを説明いたします。租税公課ですが、新事務所取得による不動産取得税などが発生したため予算比で83万円多くなりました。広報関連費は、公益目的事業を推進したため予算比で18万円多くなっています。慶弔費は事前予想が出来にくい性格なため予算比で6万円多くなりました。この点は管理費も同様です。次に管理費について説明いたします。支払報酬が新公益法人申請のためのコンサルタント、会計基準の指導に使われており、予算より87万円多くなりました。以上のような内容により最終的に経常収益は2,630万円、経常費用が2,448万円となり、当期経常増減額がプラス181万円となります。ただし、この181万円には、会計基準の変更により計上している減価償却費（115万）分が含まれます。減価償却費は、計上されていますが購入した時に費用を支払っているもので実際には現金預金の流出を伴わない費用です。また、当期の一時的な費用として先ほどの公益法人申請のための費用や不動産関係の諸費用が含まれているため、実態として、事業の損益はかなり節約となっております。42ページから45ページ（総会資料集28ページから31ページ）には、財務諸表に対する注記、財産目録を掲載いたしました。詳細な説明は省略させていただきます。以上で決算報告といたします。ご審議よろしく願いいたします。

澤田議長：これより質疑に入ります。質疑ありますでしょうか。質疑はない様ですので本件について採決に入ります。採決係のみなさん準備願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数によって、平成23年度決算報告は原案の通り承認されました。続きまして、第3号議案の平成23年度監査報告を監事より願います。

佐藤監事・中澤監事：監査報告いたします。定款23条に基づき、平成24年4月20日（金）、東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号、公益社団法人東京都放射線技師会事務所において、平成23年4月1日か



左：佐藤監事、右：中澤監事

ら平成24年3月31日までの会計年度における、会計および業務の監査を平成24年度の公益社団法人 東京都放射線技師会会長、副会長、経

理理事、総務理事、庶務理事ならびに公認会計士立会いのもとに行った結果を下記の通り報告する。記1. 監査の方法（1）会計 経理理事の説明により帳簿ならびに関係書類などを閲覧し、監査手続きに則り、会計簿と記載金額とが一致し、法人の収支状況および財産状況を詳細に監査した。（2）事業 三役、総務理事、庶務理事らの説明により事業計画案に基づいた事業の報告と関係書類の閲覧など、必要と思われる監査手続きに則り、業務執行の妥当性を検討した。2. 監査の結果（1）会計 帳簿ならびに関係書類などを閲覧し、会計簿と記載金額とが一致し、法人の収支状況および財産状況を正しく示していると認める。（2）事業 平成23年度事業計画に基づき、事業ならびに会務の運営は順調に推進したことを認める。以上。平成24年4月20日、監事佐藤清榮、監事中澤靖夫。

澤田議長：これより質疑に入ります。質疑ありますでしょうか。質疑はない様ですので本件について採決に入ります。採決係のみなさん準備願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数によって、平成23年度監査報告は承認されました。

平田副議長：それでは引き続き、第4号議案の平成24年度事業計画を議題と致します。執行部より説明願います。

篠原会長：第4号議案の平成24年度事業計画案ですが、皆様ご存じのとおり今年の3月3日の第62回社団法人放射線技師会総会で平成24年度事業計画は審議いただきご承認いただいております。これは都庁の指導によりまして、公益社団法人になって最初の総会で平成24年度事業計画を改めて議事にあげるようご指導いただきましたので、第4号議案とさせていただきます。ですので、ここでのご説明は割愛させていただきます。審議をお願いいたします。

平田副議長：それでは質疑に入ります。質疑ありますでしょうか。質疑はない様ですので本件について採決に入ります。採決係のみなさん準備願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数によって、平成24年度事業計画は承認されました。それでは引き続き、第5号議案平成24年度予算書を



会場

議題と致します。執行部より説明願います。

関経理委員長：これより平成24年度、予算書を説明させていただきます。会誌5月号の55ページから56ページ（総会資料集41ページから42ページ）が、第5号議案の平成24年度予算書（案）となっております。3月の総会において、皆様にご承認いただいたものと同じとなっております。まず、55ページ（総会資料集41ページ）よりご説明いたします。一番上の行を横に見ていただくと、公益目的事業会計、収益事業等会計、法人会計に分かれており、その合計が右から3番目の予算合計（A）になります。その右側に本来記載の義務はありませんが、参考として前期予算（B）と差異（A－B）を掲載しました。この3列を見ていただき上からご説明いたします。これより、特徴的なものについて説明し、金額については端数の読み上げを省略させていただきます。55ページ（総会資料集41ページ）上半分ですが、1、経常増減の部（1）経常収益で本会の収入を示しています。受取会費ですが、平成23年度末において会費滞納処分の候補者が65名おりますが、会員およそ2,000名を維持できるということで、予算合計を見ていただきますと、2,091万円、計上しております。その他の事業収益、受取寄付金、雑収益については、前期予算とほぼ同額を計上しております。つぎに55ページ下半分と56ページ（総会資料集41ページから42ページ）にかけての、（2）経常費用、つまり支出をご説明いたします。前期予算との対比でわかるとおり、全体的にはマイナス（△）となっております。特に、ホームページ管理運営を業者委託から委員会を発足し管理運営したことなどがあげられます。事業費から特徴のあるところを説明いたします。会議費については、6万8千円ほど多くなっていますが、これは前期の雑費に入っていた親睦会費用（新春のつどい、ボーリング大会）を含めているため実際には相当額の減少となっております。同様に、管理費が13万9,200円、租税公課が4万8千円、慶弔費が8万円とそれぞれ増加していますが、実際に即した金額に修正したために若干の増加となりました。この点は、管理費も同様です。また、雑費については、親睦会費用を他科目に計上したために大幅な減少となっております。次に56ページ（総会資料集42ページ）に移ります。管理費では、支払報酬が、公益法人申請のためのコンサルタント、会計基準の指導に使う目的で、前期予算より16万円多くなっています。以上のような内容により、最終的に経常収益は2,554万円、経常費用が2,547万円となり、当期経常増減額が、7万円となります。以上で予算書（案）のご提案といたします。ご審議よろしくお願いたします。

平田副議長：それでは質疑に入ります。質疑ありますでしょうか。質疑はない様ですので本件について採決に入ります。採決係のみなさん準備願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数によって、平成24年度予算書は原案の通り承認されました。それでは最後に第6号議案の法人名称変更

を含む定款修正を議題と致します。執行部より説明願います。

篠原会長：第6号議案の説明をさせていただきます。定款に関する修正・変更が4点、会費に関する規定修正・変更が2点になります。冒頭の挨拶の中でお話しさせていただきました通り、第1章にございます法人名称を東京都診療放射線技師会に変更。これに関しましては現在、日本放射



線技師会の方も進めております。第4章に関しましては、つい先日都から認可を頂いたばかりですが定期総会のみ記載で臨時総会の記載がないということで、通常は定期総会で運営されると思うのですが、組織としましては臨時総会も謳っておかなくてはならないということで今回の変更に合わせて第4章変更のご提案であります。第7章第38条に関しては、都庁の指導では現定款で問題ないとされていたのですが、文章として会計終了前に総会を開かなくてはならないとも読み取れてしまう。ですから、再度都庁の担当官に問い合わせたところ「現定款記載で問題ない」とのご返答でしたが、やはりこのような誤解を生む文章は残しておくべきでないと考え第7章38条に関しましては句読点を移動させ会計を終了して3か月以内に総会を開くと分かるようにとの修正でございます。第7章39条に理事会の承認という箇所がありますが、定款上でも理事会に責任を持たす意味で承認を決議と改めさせていただきたい。以上が定款の修正・変更点でございます。それから、次のページの会費に関する規定ですが通常諸規定は理事会承認でいいのですが会費に関しては総会での承認が正式な手続きとなりますのでご提案をさせていただきました。以上でございます。

平田副議長：それでは質疑に入ります。質疑ありますでしょうか。質疑はない様ですので本件について採決に入ります。尚、この案件は定款の変更ですので、定款の規定に則り、総正会員の3分の2の多数をもって行います。採決係のみなさん準備願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。ただ今集計



いたしますので少々お待ちください。田中資格審査委員長、書面表決等の報告をお願いいたします。

田中資格審査委員長：資格審査委員会より、ご報告いたします。先程報告させていただきました、書面表決等の内訳ですが、書面表決、賛成924名、反対1名。委任状、会長委任428名、この会場への出席を確認しております。以上です。

平田副議長：では、集計させていただきます。会場の集計は、反対：0名、保留：0名、賛成：144名です。従いまして、総計すると、1496名が賛成しており、総正会員数の3分の2以上（1198名以上）の賛成を得ていることを確認し、よって、法人名称変更を含む定款修正は原案の通り承認されました。以上をもちまして第1回定期総会の議事を終了させていただきます。只今をもって議長団を解任させていただきます。皆様のご協力に感謝申し上げます。

司会：澤田議長・平田副議長ありがとうございました。滞りなく審議を終了し、改めて感謝申し上げます。引き続きまして平成24年度・25年度の役員選挙を行います。選挙管理委員会の皆様は本会役員選挙規程に基づき選出されております。お名前をご紹介します。城東支部 富丸佳一さん、城西支部 大久保智史さん、城南支部 水野靖弘さん、城北支部 高橋克行さん、多摩支部 上野哲雄さん、以上5名。選挙管理委員長は、城北支部選出 高橋克行さんです。それでは、高橋委員長、選挙の進行をお願いいたします。

高橋選挙管理委員長：只今より定款第20条、21条に基づいて平成24年・25年度の公益社団法人東京都診療放射線技師会役員選挙を本総会にて行います。それでは、選挙管理委員会より役員選挙規程第3条の資格を有する役員候補者をご紹介します。



高橋選挙管理委員長

会長候補 篠原健一さん、理事候補 浅沼雅康さん、安宅里見さん、飯島利幸さん、石田秀樹さん、市川重司さん、江田哲男さん、葛西一隆さん、大地直之さん、大室正巳さん、小野口敦さん、川崎政士さん、眞田鮎子さん、白木尚さん、関真一さん、高坂知靖さん、高橋潤一郎さん、千葉利昭さん、野口幸作さん、森俊さん、監事候補（立候補）乙井不仁夫さん、監事候補（監督官庁の指導による理事会推薦外部理事）佐藤清榮さん。尚、監督官庁の指導による外部監事（理事会推薦）のため立候補の公示には名前がありません。また、直近の理事会にて推薦・承認されております。以上、理事20名、監事2名、であります。理事、監事は定数の範囲内です。従いまして、役員選挙規程第9条・4項に基づき、会長候補者のみ、本日この会場にお集まりの会員の皆様の信任投票を行い、その他の役員候補については無投票当選といたします。尚、信任の方法は、皆様の挙手に

より行いたいと思いますが、いかがでしょうか？ 異議はない様ですので投票に移りたいと思います。それでは、平成24年・25年度 会長候補として篠原健一さんを信任される方挙手をお願いいたします。集計を行いますので、申し訳ありませんが暫くそのままの体制でお待ちください。不信任の方、挙手をお願いいたします。信任128名 不信任0名。選挙管理委員会は篠原健一さんが平成24年・25年度会長候補として信任されたことをご報告いたします。以上で平成24年・25年度の役員選挙を終わります。ご協力ありがとうございました。

司会：選挙管理委員の皆様ありがとうございました。それでは、新年度役員を代表いたしまして、次期会長よりご挨拶をお願いします。



篠原会長

篠原会長候補：どうも皆様、ご信任をいただきましてありがとうございました。職責を重く受け止めまして会運営を行っていく所存でございます。本来は昨年3月の社団法人としての総会でご信任いただき、私も含めまして役員は任期2年ですから来年の3月までの任期だったのですが公益社団法人に移行しまして都庁より最初の総会で役員改選をするようにご指導いただきました。これは総会が年1回の開催になりましたから来年の5月あるいは6月の総会になりますと任期が切れてしまいますので、その前の総会ということです。前回の役員の皆様は1年と2か月の中途半端な任期となりましたが、多くの方に留任していただいております。この後、理事会で副会長2名あるいは業務執行理事等を指名いたしまして理事会にて承認をしていただくという作業があります。皆様には後程ご報告させていただきたいと思います。本日のペイシェントケア学術大会も第10回となりましたが、これは中澤前会長の時代に始めた事業でございます。中澤前会長が13年前にいろいろな事業を立ち上げまして、その遺産を私が食いつぶさないよう努力し大きく育てて次の世代に引き渡し、それが私の使命だと思っておりますのでご協力よろしくをお願いいたします。

司会：以上で本日の全日程が終了いたしました。葛西理事より閉会のご挨拶を申し上げます。

葛西理事：皆様、ご信任ありがとうございました。それでは、第1回公益社団法人東京都放射線技師会総会を終了させていただきます。本日は皆さま、お忙しいところご出席いただきましてどうもありがとうございました。

葛西副会長：皆様、ご信任ありがとうございました。それでは、第1回公益社団法人東京都放射線技師会総会を終了させていただきます。本日は皆さま、お忙しいところご出席いただきましてどうもありがとうございました。



葛西副会長

平成23年度 小野賞・勤続20年表彰受賞者

小野賞

第1地区	工藤 英敏	
第4地区	布施 章	東京慈恵会医科大学附属病院

勤続20年表彰

第1地区	竹内 務	三菱診療所
第2地区	藤田 賢一	永寿総合病院
第2地区	江田 裕介	聖路加国際病院
第3地区	布施屋一広	東京厚生年金病院
第4地区	山崎 真一	日本赤十字社医療センター
第5地区	藤田 正義	東京大学医学部附属病院
第7地区	丹野 貴志	全国硝子業健康保険組合
第8地区	中西 雄一	NTT東日本関東病院
第8地区	藤沢 達二	全日本労働福祉協会
第8地区	根本 恵子	NTT東日本関東病院
第9地区	大久保智史	日本大学医学部附属板橋病院
第9地区	市川 篤志	日本大学医学部附属板橋病院
第9地区	川口 克己	都立墨東病院
第9地区	鈴木 秀明	浮間舟渡病院
第12地区	石橋 康男	結核予防会 新山手病院
第13地区	荒井 一正	武蔵野赤十字病院
第13地区	千島 克夫	伊藤病院
第13地区	武田 聡司	国立病院機構 災害医療センター
第14地区	關 義晃	東京慈恵会医科大学附属柏病院
第15地区	伊藤 美香	昭和大学横浜市北部病院
第16地区	菊地 勉	みさと健和病院



小野賞



勤続20年表彰

特

集

祝 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

平成24年5月26日（土）にホテルラングウッドにて「第10回ペイシェントケア学術大会」の情報交換会ならびに「公益法人移行記念祝賀会」が盛大に開催されました。

今回の公益法人移行ならびに名称の変更を記念して、会長ならびに顧問、元定款諸規程検討委員会委員長からのご祝辞をご紹介します。



「公益社団法人 東京都診療放射線技師会」への軌跡

平成 24年 8月1日	平成 24年 5月26日	平成 24年 4月1日	平成 23年 3月20日	平成 23年 1月30日	平成 22年 3月13日	平成 21年 12月25日	平成 20年 12月1日	平成 20年 5月24日	平成 19年 10月4日	平成 18年 6月2日
新名称「公益社団法人 東京都診療放射線技師会」を登記	第1回定期総会にて名称の変更を含む定款の変更を承認	公益社団法人 東京都放射線技師会 設立	公益社団法人認定証が交付される	公益社団法人への移行の答申が下りる	第58回定期総会にて公益法人制度改正に伴う定款の変更を承認	新事務所（現研修センター）への移転	公益法人新制度の施行	第55回定期総会にて公益法人制度改正に伴う公益社団法人への移行意思の決議	平成19年度第6回理事会にて定款諸規定検討委員会の設置を決議	公益法人制度改革関連三法の公布

「公益社団法人 東京都診療放射線技師会」への軌跡



公益社団法人 東京都診療放射線技師会 会長

篠原 健一

本会は昭和25年（1955年）に設立され、昭和55年（1980年）に法人化（社団法人）しました。そして本年4月1日より「公益社団法人」として新たな一歩を踏み出しました。平成19年（2007年）10月の理事会において「定款・諸規定検討委員会」設置が承認され公益移行準備活動が正式にスタートし、平成20年（2008年）5月の第55回定期総会で公益社団法人への移行を決議、平成22年（2010年）3月の第58回定期総会にて公益法人関連法規に基づく定款変更が決議されました。準備がスタートしてから4年半以上、公益移行のための最初の定款変更から約2年を要しました。

公益認定されたことは、今後一層の公益的事業展開が求められることはもちろんですが、私は従来からの本会活動がすでに「公益性」を満たしていたと自負しています。発足以来、先輩諸氏・会員の皆様が営々と築いてきた本会の存在価値と社会貢献が「基準に適合」したと思っています。歴代の役員、定款諸規定検討委員（委員長→小田正記前副会長）、四谷監査法人様、西澤司法書士事務所様、公益法人制度改革関連三法が公布されるといち早く「移行」のビ

ジョンを打ち出した中澤前会長（現日放技会長）の先見性、そして何よりも多大なるご協力とご理解をいただいた会員各位にあらためて感謝を申し上げます。

本年5月、公益社団法人としての第1回（通期第63回）定期総会では認定後初の役員改選が行われ、そして本会の法人名を東京都診療放射線技師会とすることが決議されました。我々の国家資格名称をそのまま法人名とすることは、単に正確性を求めたということだけではありません。唯一“診療”を冠する医療職能として、患者さんやご家族に寄り添い、検査や画像読影について相談を受け説明する役割を担い、他のメディカルスタッフから信頼され必要とされ、チーム医療の重要なパートナーとして認知される職能であるべきことへの思いを込めた名称変更です。我々は今回の定款変更～公益認定～組織名称変更等の一連の流れに誇りと自覚を持ち、社会的責任を果たしていくことが求められています。皆様の一層のご指導・ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

1895年（明治28年）	エックス線の発見（ヴィルヘルム・C・レントゲン）
1896年（明治29年）	放射能の発見（アントワヌ・H・ベクレル）
1947年（昭和22年）	日本放射線技師会創立（関東支部設立）
1950年（昭和25年）	東京都放射線技師会創立
1951年（昭和26年）	診療エックス線技師法制定
1968年（昭和43年）	診療エックス線技師法改正 ～診療放射線技師の区分が新設
1980年（昭和55年）	社団法人 東京都放射線技師会設立（法人化）
1984年（昭和59年）	診療エックス線技師法改正 ～診療エックス線技師の区分が廃止
1993年（平成5年）	診療エックス線技師法改正 ～MRI検査・超音波検査・眼底撮影が領域に加わる
2009年（平成21年）	診療放射線技師法施行規則改正 ～試験名称が「診療放射線技師国家試験」となる *従来より国家資格であったが試験名称に国家が入っていなかった
2011年（平成23年）	厚生省チーム医療推進会議→診療放射線技師の業務範囲の見直し答申
2012年（平成24年）	公益社団法人 東京都放射線技師会設立（公益移行） 法人名称変更 → 旧：公益社団法人東京都放射線技師会 新：公益社団法人東京都診療放射線技師会

社団法人から公益社団法人への移行を祝す



公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長
公益社団法人 東京都診療放射線技師会 顧問

中澤 靖夫 (第11代東放技会長)

平成24年4月に東京都放射線技師会におかれましては、「社団法人」から「公益社団法人」に移行されました事を心からお慶び申し上げます。

貴会をお預かりしていた時の平成20年度末に公益社団法人移行を目指して定款諸規定検討委員会を結成したことを記憶しています。当時は小田委員長を中心に公益に向けた準備会議を週1回のペースで開催し、定款・諸規定の見直しや公益会計基準の導入による事業運営について検討していただきました。それから3年、篠原会長をはじめとする全ての役員の皆様方・会員の皆様方のご努力により公益社団法人を取得されましたことに対し心から感謝を申し上げる次第です。東京都放射線技師会は昭和25年5月会員数314名にて設立されてから、先達の血と汗の滲む苦難の道程を乗り越え、今年で創立62年を迎えられました。社団法人の取得は昭和55年10月ですので今年で32年の歴史を刻んできた事になります。そして新たに公益社団法人を取得され、名称も「東京都放射線技師会」から「東京都診療放射線技師会」へと変更されました。新たな時代に対応する組織変革を実施され、都民に対する公益活動を実施されている事に対し、敬意を表する次第であります。

さて、医療における時代の潮流は「チーム医療の推進」であります。平成22年4月30日厚生労働省医政局長から「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」(医政発0430第1号)の通知が発せられました。診療

放射線技師のところでは「放射線治療・検査・管理や画像検査等に関する業務が増大する中、当該業務の専門家として医療現場において果たし得る役割は大きなものとなっている。以下に掲げる業務については、現行制度の下において診療放射線技師が実施することができることから、診療放射線技師を積極的に活用することが望まれている。①画像診断における読影の補助を行うこと②放射線検査等に関する説明・相談を行うこと」と通知されています。また、平成23年12月には厚生労働省社会保障審議会医療部会の中では診療放射線技師の新たな業務としてX線CT検査時やMR検査時等における抜針・止血、下部消化管造影検査における直腸の位置確認・ネラトンチューブの挿入・造影剤の注入、核医学関連機器の操作・検査等が検討されています。

私達診療放射線技師は科学技術の進歩と共に学び研究し、その科学的成果を日常診療に普及させる事が使命であります。国民と共に歩み医療者と協働し、優れた医療技術を公平に社会へ還元していく事が求められています。公益社団法人 日本診療放射線技師会は、国民に尽くし社会に尽くすという「高い志」をもって歩む優れた診療放射線技師の育成にこれからも邁進していく所存であります。

最後になりましたが、公益社団法人 東京都診療放射線技師会の益々の発展をご祈念申し上げます。

公益社団法人 東京都診療放射線技師会に期待すること



公益社団法人 東京都診療放射線技師会 顧問

橋本 宏 (第7代東放技会長)

公益社団法人 東京都診療放射線技師会への移行されたことは、誠に喜ばしく、篠原会長の指導の下、技師会運営に尽力されている役員と活動を支援されている会員の成果に他なりません。

昭和25年に東京都放射線技師会として創立されて以来、昭和26年の診療エックス線技師法。昭和42年の診療放射線技師法の成立など、身分法を巡る社会環境の変化に迅速・的確に対応してきました。

身分法である「診療放射線技師法」と整合性のとれた公益社団法人への移行は、診療放射線技師に都民の医療及び保健の維持発展に寄与する活動が求められていることに他なりません。

私の手元に、昭和26年1月の「レントゲン講座」と題する黄ばんだ書籍があります。レントゲン技術者（当時）が国家試験を受けるにも、適切な書籍、雑誌の少ない時勢から、大阪レントゲン製作所（現 株式会社日立メディコ）が発行したものです。コンデンサー装置に関する研究と技術に関する普及啓発と併せ、外国業界雑誌のダイジェストや技術者に対する諸講座が連載されておりました。その他、富士フィルムやさくらフィルムの小西六写真工業から発行された雑誌、大日本塗料の極光など、養成校もない時代には関連企業、現在の社団法人日本画像医療システム傘下の企業からの情報提供があって、私たちの職能が発展してき

たことを忘れてはならないと思います。

当時、一般の人は、エックス線技師というよりレントゲン技師と呼び、職場でもエックス線写真をレントゲン写真と呼んでいました。しかし「道の光」という意味でレントゲン先生はX線と名付けられたので、レントゲン技師法ではなく昭和26年に診療エックス線技師法が制定されたのです。

昭和42年に診療放射線技師法が設立した後、画像診断部門や放射線治療部門の進歩は日進月歩であり、常に最先端の医療技術を学ぶ必要があります。そのための研修会、後援会、学術大会などを開催し研鑽を重ねる一方、医療人としての資質の向上と職業倫理の高揚に勤めていく必要があります。

医療人は、人の命やQOLにかかわる問題であり、安全安心して医療サービスを受けられるものでなくてはなりません。今回の公益社団法人 東京都診療放射線技師会への移行は、単なる名称変更と捉えるのではなく、都民のみならず国民の健康維持のため、診療放射線技師の職業倫理の高揚と資質の向上が期待されていると理解すべきです。

平成23年3月11日以降の放射線被ばくによる影響の不安や誤解を払拭するための普及啓発活動を、病院の診療放射線技師の枠を出た公益事業として東京都診療放射線技師会に期待してやみません。

公益社団法人 東京都診療放射線技師会設立を祝して



公益社団法人 東京都診療放射線技師会 顧問

國定 忠彦 (第8代東放技会長)

公益社団法人東京都診療放射線技師会」の設立が許可され慶賀にあたえません。会長をはじめ役員各位のご努力に対し深甚なる敬意を表します。

本会は、昭和25年、東京都放射線技師会（任意団体）として誕生し、主として放射線技師職と技師教育制度の確立（技師法制定）と、現業技師の学術研修ならびに資質向上につとめることで都民の医療の向上に貢献してきました。

昭和26年、診療エックス線技師法が制定され、その後、数次にわたる同法改正により現行の診療放射線技師法に至っています。

昭和51年、社団法人日本放射線技師会の中村 実会長（当時）の推奨により、都道府県放射線技師会の法人化が急速に進みました。本会においても昭和52年から約3年にわたる東京都の指導を得て、昭和55年10月、社団法人東京都放射線技師会の設立を許可され、以来、各種公益事業を展開してきたことは周知のとおりであります。

しかしながら、行政改革の必要が指摘され、その一環として平成13年から公益法人制度の抜本的な改革に向けた取り組みが進め、政府は平成18年「公益法人制度改革の関連法案」を通常国会に提出。新制度が平成20年12月1日施行されました。

今回の公益法人改革では、現行の公益法人の許可制度では、一体となっている「法人の設立」と、「法人の公益性の認定」を分離し、登記のみで設立できる一般社団（財団）法人の制度を創設するとともに、公益事業を行う一般社団（財団）法人のうち、認定法に基づく公益認定を受け

た法人を、公益社団（財団）法人としました。

公益社団（財団）法人は、「民による公益の増進」に寄与する民間非営利部門の重要な主体あり、公益の増進の担い手として期待されています。

その意味から、「公益社団法人東京都診療放射線技師会」の設立が許可されたことは、本会にとって光栄の極みではありますが、同時に社会的責任は大きく、都民の期待を損なうことのないよう心がけなければなりません。

「公益の増進」は、東京という域内での事でなく、全国的な視野に立って考えるべきでわないでしょうか。

かつて、社団法人 日本放射線技師会の定款には「本会は、主たる事務所を東京都——に置き、各都道府県に従たる事務所を置く」と定め、そのことで日本放射線技師会と都道府県放射線技師会との組織形態を表現してきました。

都道府県技師会が固有の法人格を取得した現在も、法人の性格上、日本放射線技師会と都道府県技師会との関係については明確にされず、曖昧なまま現在に至っています。

技師会は職能団体であり、日本放射線技師会と都道府県技師会との結びが稀薄になってはならないのです。

都道府県技師会が固有の法人格を持つことは社会的に意義があることでこれを損なうことなく、都道府県技師会の総意を日本放射線技師会の総力として結集できるような方途を周知を集めて策定し、本会が先頭になって問題解決に努力されることを祈念して、公益社団法人 東京都診療放射線技師会設立の祝辞とします。

公益社団法人取得を祝して



公益社団法人 東京都診療放射線技師会 顧問

岩田 拓治 (第9代東放技会長)

公益社団法人（平成20年改定）資格取得を、先ずはお祝い申し上げます。誠にとお目出度うございます。

世俗に「職業に貴賤上下の別なし」などと言われますが、現実の世の中は学歴・社会的地位の上下。財産・収入の多寡等々格差は横溢し、身分が貴いとか賤しいとか、その上下が混在していると云うか混在しているのが現実でありましょう。では、その貴賤をいかにして評定しているのかを考えると、世間の人々がその職業が社会に対してどのように貢献しているのか、また職責の軽重が問われているのでは無いでしょうか。その社会の信頼・信用を評価し行政が決定して名称を許可したものが公益法人の資格でありましょう。

そこで“公益”とは？ “社団”とは？ と日頃不勉強で知識不足の私が、久し振りに辞書を繙くことになったのです。

古い話ですが昭和55年10月（1980年）、本会が2～3年懸りの努力で「社団法人」の資格を取得した当時と現在の法人はどのような相違があるのか調べたものを以下に羅列し、労苦を称える次第にした。

広辞苑（第三版）1983年（昭和58年）12月岩波書店

- ・公益法人 宗教・社会教育・慈善・技芸 その他の公共の利益を目的とし営利を目的としない法人
⇔ 営利法人
- ・公益 国家または社会公共の利益。広く世人を益すること。 ⇔ 私益
- ・法人 自然人ではなくて、権利の主体たるもの。個々の自然人を離れて、社会的活動の単位となっている組織体について権利能力の付与されたもので、財団法人と社団法人との別がある。 ⇔ 自然人

- ・社団法人 権利・義務の主体（法人）たることを認められている社団。私法人たる社団法人には公益法人と営利法人がある。 ⇔ 財団法人
- ・社団 ①一定の目的のもとに結合した人の集合体で、団体としての組織を有し団体自身が、社会上単一体としての存在を有するもの。
②社団法人の略。

広辞苑（第六版）2010年（平成22年）岩波書店

- ・公益 第三版と同じ
- ・法人 (法) 人ないし財産から成る組織体に法人格（権利・能力）が与えられたもの。理事その他の機関を有し、自然人と同様に法律行為を含むさまざまな経済活動をなしうる。 ⇔ 自然人（生まれたままの人、本性を失わない人、社会や文化の影響を受けていない人。(法) 法人と区別して生物としての人を指すときに用いる語。法律上、単に人といえ、普通、自然人と法人の両方が含まれる。
- ・公益法人 民法上、慈善・学術・技芸 その他の公益事業を目的とする社団や財団で主務官庁の許可を得て法人となったもの。 ⇔ 学校法人
- ・社団法人 民法上、慈善・学術・技芸 その他の公益事業を目的とし主務官庁の許可を得て法人となった社団。 ⇔ 財団法人 云々

以上、るるとめどころな 縷々留処無く書き続けたのは他でもない。頭書の公益社団法人資格取得に当時の担当役員が筆舌に尽くし難い努力をはらわれたかを推察するとともに功績に敬意を表し、心から感謝申し上げることだからです。

公益社団法人としての出発に際して



公益社団法人 東京都診療放射線技師会 前副会長
元定款諸規程検討委員会 委員長

小田 正記

公益社団法人の認定および新名称「東京都診療放射線技師会」としてのスタート、誠におめでとうございます。公益法人認定に向けての定款諸規程の改正および公益認定の申請に携わらせて頂いた者のひとりとして、心よりお喜び申し上げます。

さて、新公益法人制度は、平成20年（2008年）12月1日に施行されましたが、本会の定款諸規程検討委員会は、その施行に先立ち平成19年（2007年）11月15日の第1回委員会からスタートしました。メンバー（敬称略）は、本会執行部より経理・矢野孝好および横田光、編集・平田充弘、庶務・野口幸作、本会各支部より城東・柴山豊喜、城西・坂西和良、城南・布施章、城北・浅沼雅康、多摩・篠田浩に私を含めた10名で構成されました。

平成24年（2012年）1月30日に「公益社団法人」の答申が下り、平成24年4月1日に晴れて公益社団法人としてスタートするまでに、実に20回を数える委員会を開催し、最初は旧定款諸規程の熟読から始まり、新制度関連3法の理解とともに情報の収集、認定基準に沿った本会事業の仕分け、公益法人会計との照合、そして新定款のモデルパターンに添った定款諸規程の作成へと進めてまいりました。また、事あるごとに研修会や学術大会での報告や発表を行い、理事会への答申案の提出など、実に精力的に活動して頂いたことに、あらためて委員お一人おひとりのご努力と情熱に感謝申し上げます次第です。

公益社団法人までのプロセスは、

- 1) 「公益」・「一般」のどちらに移行するのかを本会の総意として総会で決議する
- 2) 新法令に沿った新しい定款を作成し、総会で承認を得る
- 3) 移行認定の申請を行う
- 4) 東京都公益認定等審議会からの答申が下り認定証が届いたら登記を行う

です。この中で委員会は、1) と2) に向けての責任を担い、東京都との折衝の中で差し戻しなどがあれば、即座に対応してまいりました。

実は、3) を担っていたもう一つのメンバーがいます。それは、経理・矢野孝好氏、四谷監査法人尾崎圭治氏、高山潔氏でした。後半から経理の関真一理事、庶務の野口幸作理事も加わり、具体的な手続きをするために電子申請書への登録・作成、東京都の担当官との打ち合わせ、担当官からの確認事項への回答を幾度となく繰り返してまいりました。

移行認定申請書は、本会の事業内容を公益目的事業・その他の事業に分け、その概要を記述することはもとより、公益認定基準に適合するための費用分配が大変重要であり、その算定、計算の如何で公益認定の可否が決定されるといっても過言ではありません。そのために、監査のプロの目で本会会計を見て頂く必要があり、その重責を担って頂いたのが四谷監査法人の両氏でした。申請書の作成に取り掛かり、平成22年12月末に最初の申請書を東京都に提出してから実に1年1カ月後、その努力が結実しました。この場をお借りして、あらためて両氏、および関係各位に感謝申し上げます。

また、申請中の平成23年3月11日に発生した東日本大震災に関連する福島第一原子力発電所の放射能漏えい事故も忘れることはできません。この事故は歴史に残る大惨事であることは言うに及ばず、申請を手掛けていた者にとっては、申請手続きを半年以上遅らせてしまうことになりました。しかし、この事故で本会が担った避難場所での放射線測定やさまざまなボランティア活動は、本会の公益性や診療放射線技師職の社会的ニーズ、職能団体としての必要性を大きくアピールできたものと信じて止みません。

本年、本会は創立62周年・法人化32周年を迎えました。草創期の先達の努力の賜物によりここまで成長できた本会は、第2の草創期ともいふべきこの転換期、公益法人である職能団体としての新たな使命と目的に向かって進んでいかれるようお祈り申し上げますとともに、会の益々の発展、会員の皆さまのご清栄、役員の皆さまの益々のご活躍を心より願っております。

はじめに

誌上講座「歯・顎顔面検査法」における3回目はパノラマX線撮影法である。

パノラマX線撮影法には、回転方式以外に口内線源方式の撮影法があったが、現在は装置が市販されていないため割愛し、ここではパノラマX線撮影法は回転方式パノラマX線撮影法のことを指すこととする。

1. 撮影目的

パノラマX線撮影は、全ての歯ならびに顎関節部を含んだ上下顎骨および上顎洞、鼻腔などを1枚のフィルム上に展開して総覧できるため、これらの領域で発生する病変を把握する目的で歯科・口腔外科・耳鼻科領域で多用される。

また、嚢胞や腫瘍などの大きさ、部位、X線透過性（または不透過性）など病変の構造、正常骨との境界などの診断に使用される^{1) 2)}。

2. 基準面

一般に用いられる基準面はドイツ水平面であり、咬合状態（奥歯を噛み合わせた状態）で上下顎の前歯部を断層域内に入れるために、通常はドイツ水平面を水平に位置づける³⁾（図1）。しかし、患者の上下顎の形態や前歯部の傾斜角度などは個人差が大きいので、患者一人一人の状態に合わせた位置づけが必要となる。

また、上下顎の前歯部を断層域内に入れる目的で、切端咬合（上下の前歯先端どうしが噛み合っている状態）にして撮影することもある。

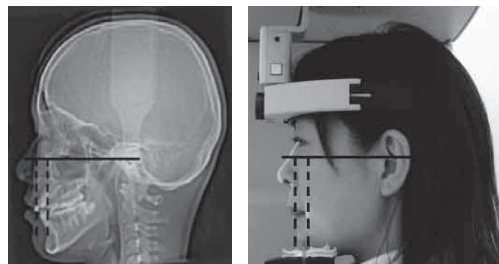


図1. ドイツ水平面を基準にした患者位置づけ

3. パノラマX線写真の解剖

パノラマX線撮影は断層撮影であり、断層域以外にある骨や人工物（補綴物や装飾品）などのX線吸収体ばかりでなく、気管や口腔内にある空気までもが描出されるため、読影をより難しくしている。

そのため、読影する際には正常像のX線解剖を正確に把握しておく必要がある。

この章では、正常像のX線解剖と撮影時の患者体位との関連も併せて解説する。

i. 正常像の解剖

パノラマX線写真で描出される上下方向の撮影範囲は下顎骨下縁から眼窩中央部までで、左右方向では両側の顎関節まで描出される（図2）。

画像全体を見ると、中央部上方には鼻腔（洋梨状のX線透過像）が描出され、その中央部には鼻中隔（鋤骨）と下鼻甲介が認められる。また、その左右両側に上顎洞が描出されている。その上顎洞内側壁は、鼻腔壁と重複像を呈しながら眼窩下部まで達し、眼窩下部に沿って横に延び、上顎洞後壁が上顎骨後壁に沿って下降



図2. ドイツ水平面を基準にしたパノラマX線写真

咬合面は下方にやや凹んだ状態で写し出され、下顎枝後縁はやや逆ハの字型になる。

する。

上顎洞々底部は、上顎の歯根部に近接（または重複）して描出される。また、上顎洞内の外側部に頬骨突起と頬骨後壁の断面像が認められる。この線はパノラマ無名線とも呼ばれるが、上顎洞後壁あるいは隔壁と間違えやすいので注意が必要である⁴⁾。

鼻腔下部から上顎洞下部にかけて横一文字に描出されているX線不透過像は硬口蓋であるが、その形状は患者位置づけ時のドイツ水平面の角度により大きく変化する。また、硬口蓋上部に帯状に認められるX線透過像は含気空洞（気道内の空気）である。

下顎骨では、左右下顎頭間の筋突起を含んだ全体像が把握でき、下顎体部には、下顎孔からオトガイ孔まで走行する下顎管が認められる。

顎関節部は、下顎頭上部と下顎窩との関係が重なって描出されるため不明瞭であるが、下顎頭下部は比較的明瞭に描出されるため骨折などの診断に有効である。ただし、パノラマX線写真では、その機構上、顎関節内側面が画像の外側に、外側面が内側に描出されるので読影時には注意が必要である（図3）。

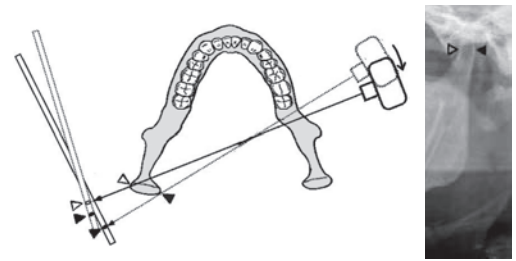


図3. パノラマX線撮影における下顎頭の写り方

右側斜め前方から右側後方に向かって撮影が開始されるので、初めに顎関節の内側が写し出され（▲印）、次に外側が写し出される（△印）。このため、顎関節の内側部がX線写真の外側に写し出されることになる（右図▲印）。

ii. 障害陰影

パノラマX線撮影は、スリットによる細隙撮影法を用いた断層撮影なので、断層域の構造物が一般の断層撮影よりも明瞭に描出される半面、暈け像も不均一でかなり目立っている。

たとえば、気管内にある空気などによっても障害陰影が生ずるため、口腔・顎顔面領域の解剖学的構造物がパノラマ画像上でどの位置に、どのように写っているか把握しておく必要がある。

次に、臨床画像（図4）を用いて種々の障害陰影を解説する。

図中aは、反対側の下顎骨の障害陰影であり、X線が少し下方から入射しているため実際の位置よりもやや上方に描出されている。

また、正中部に認められる不透過像（b）は頸椎による障害陰影で、その上部の上顎前歯根尖部分に“ハの字”型の透過像（c）が認められる。これは軸椎と環椎の椎間の陰影である。その上部に横に伸びている障害陰影（d）は硬口蓋の不透過像である。さらにその上部にある鼻腔や上顎洞を含み左右の下顎枝を経て頸椎前縁部におよぶ幅広い透過像（黒化帯：e）は含気空洞による障害陰影である。また、下顎骨下部両側に横に伸びている陰影（f）は舌骨である。

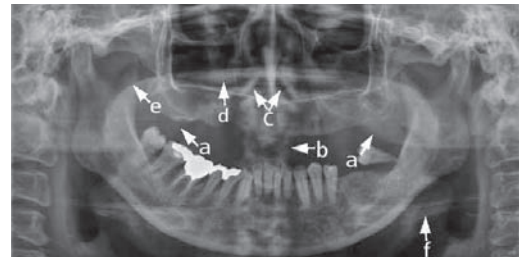


図4. 解剖学的構造物や含気による種々の障害陰影

a: 反対側の下顎骨の陰影、b: 頸椎、c: 椎間による陰影、d: 硬口蓋、e: 含気空洞による陰影、f: 舌骨

4. パノラマX線写真の読影の基本

パノラマX線写真を読影するための基本項目を列挙する。

i. 上顎骨

a. 上顎洞の輪郭に異常がないか

- ・洞底部の形態と白線*の状態はどうか
- ・全体の輪郭を見て断裂、消失、対称性はどうか

b. 上顎骨の輪郭に異常がないか

c. 上顎洞内の左右濃度差に異常がないか

- ・正常な場合でも、障害陰影により濃度差が出る場合もあるので注意が必要である

* 歯根と平行して線状に不透過像として現れる歯槽硬板のこと。診断する上で重要な意味を持つ。

ii. 下顎骨

a. 下顎骨の輪郭に異常がないか

- ・下顎下縁の連続性が損なわれていないか
- ・下顎下縁の皮質骨が菲薄化や消失していないか
- ・下顎骨の左右対称性はどうか
- ・下顎頭の形態や大きさおよび下顎窩との相対的な位置関係はどうか

b. 下顎管やオトガイ孔・下顎孔に異常がないか

c. 骨梁模様や全体の透過性に異常がないか

iii. 歯

a. 本数に異常がないか

- ・埋伏歯や過剰歯がないか
- ・先天欠如はないか

b. 歯冠部に異常がないか

- ・齲蝕の状態

c. 白線に異常がないか

d. 歯槽骨の骨吸収程度に異常がないか

e. 根尖病巣などがないか

5. 撮影失敗例^{3)・7)} —原因と対策—

i. 前歯部の失敗例

a. 上下顎とも拡大して量けている (図5)

(原因) 位置づけの失敗として多く見られる。患者が漸層域より後方に位置づけられている (管球側に寄っている) ために起こる。

(対策) 患者をもっと前方に位置づける。

b. 上下顎とも縮小している (図6)

(原因) 患者が漸層域より前方に位置づけられている (管球側に寄っている) ために起こる。

(対策) 患者をもっと後方に位置づける。

c. 上顎だけ量けている (図7)

(原因) これも位置づけの失敗として多く見られる。患者の顎が上がり過ぎていないか、下顎前突症である。

(対策) ドイツ水平面を水平にする。下顎前突症の場合は前頭部を前に出す (ドイツ水平面の前方を下げる)。

d. 下顎前歯部だけ量けている (図8)

(原因) 下顎を引きすぎている。または、上顎前突症・下顎後退症 (小下顎症) である。

(対策) ドイツ水平面を水平にする。上顎前突症などの場合は下顎骨を前に出す (ドイツ水平面の前方を上げる)。

e. 前歯部に障害陰影が認められる (I) (図9a)

(原因) 装置が低すぎるため、患者の立つ位置が後方になり、顎を突き出した状態で位置づけしてしまったため (図9b)、頸椎が斜めになりX線吸収が増加し、下顎前歯部がアンダーになってしまった。

(対策) 患者をもっと前方に立たせ、頸椎を出来るだけ垂直にする。

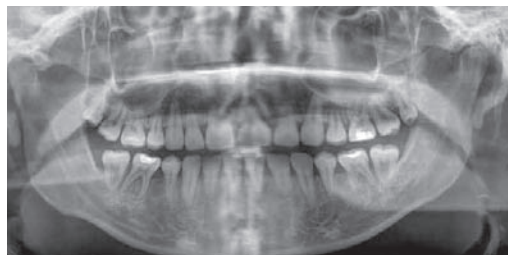


図5. 前歯部の量けたパノラマX線写真



図6. 前歯部が縮小しているパノラマX線写真



図7. 上顎前歯だけ量けたパノラマX線写真
咬合面が上に凸の状態を描出され、下顎枝後縁が逆ハの字になっている。

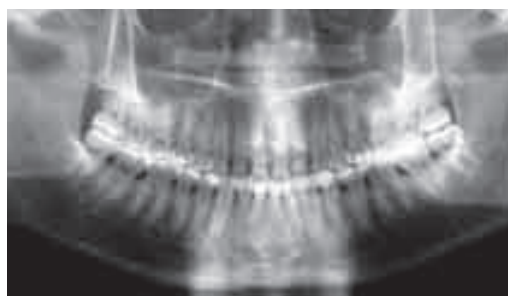


図8. 下顎前歯部だけ量けたパノラマX線写真
咬合面が下に凸の状態を描出されている。



図9a. 下顎前歯部濃度がアンダーなパノラマX線写真

f.前歯部に障害陰影が認められる（Ⅱ）（図10）

（原因）患者が着用している防護エプロンが後ろ襟まで掛かってしまったため、障害陰影となって前歯部に写り込んでいる。

（対策）防護エプロンの後ろ襟の部分を下げる。または、防護エプロンを外す。

g.前歯部に障害陰影が認められる（Ⅲ）（図11a,b,c）

（原因）ネックレス、後ろ襟のファスナー、束ねた髪による障害陰影。

（対策）ネックレスは外し、ファスナーは降ろして襟を左右に折り畳む。また、髪は束ねる位置により障害陰影として写ってしまうので注意する。

ii. その他の失敗例

a.片側だけ量けている（図12）

（原因）患者さんが撮影中に動いたため、右側だけが量けてしまっている。

（対策）撮影中に動かないよう注意しておく。幼児の場合は、保護者に押さえてもらう。

b. 片側の下顎枝部だけが幅広く写っている（図13）

（原因）フィルム（IP）受けが患者さんの肩に当たり、フィルム（IP）の動きが阻害されたためである。

患者が猫背になっていたり、後ろに立ちすぎていると、相対的に装置が低くなり、肩が当たる。

（対策）装置の高さを高くする。

- ・患者の背筋を伸ばし、装置の高さを高くする。
- ・患者の立つ位置をもっと前にして、装置の高さを高くする。
- ・肩パッドが入っている上着などを脱がせる。
- ・防護エプロンを着せている場合は、外す。

c.下顎下縁や硬口蓋が波打っている（図14）

（原因）患者さんの絶え間ない動きにより、横のラインが全体的に波打っている。咬み合わせる歯がない人に見られる現象である

（対策）X線透過性の物で、少し堅い物を咬ませることで、顎が安定する。

d.上顎歯根部の濃度が高すぎる（図15a）

（原因）撮影中に舌を口蓋に付けていないため、口腔内の空気が上顎歯根部に黒い障害陰影となり、診断の障害となっている。

（対策）撮影中、舌を口蓋に付けるよう注意する。対策後の写真を示す（図15b）。



図9b. 頸椎が斜めになった位置づけ



図10. 防護エプロンの障害陰影

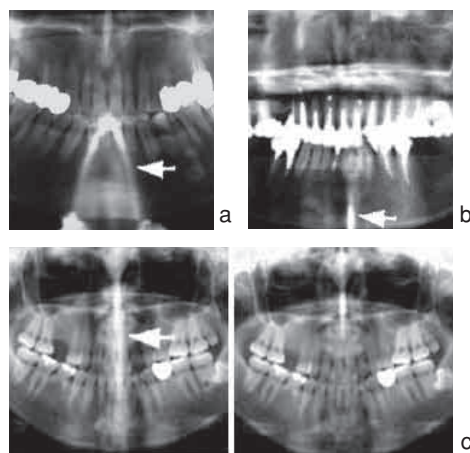


図11. a) ネックレスによる障害陰影（白矢印）
b) 後ろ襟のファスナーによる障害陰影
c) 左が髪を束ね、右は髪を解いて撮影されたパノラマX線写真

6. 自動露出機構の注意点

パノラマX線撮影装置の自動露出機構を使用する場合の注意点について述べる。

患者通過後のX線を効率的に検出するため、一般的には自動露出機構に使用されている検出器はフィルムやグリッドよりも管球側に設置されている。しかし、パノラマX線撮影装置では、カセットの裏側に設置されているため、裏面に鉛が貼り付けてあるカセットを使用した場合には、鉛で吸収された後のX線を検出することになり、患者に対して余分な被曝をさせてしまうことになる。

特に、CR用カセットはメーカーにより鉛（または他の金属）の有



図12. 片側だけ量けたパノラマX線写真

無や分布が異なるため、使用前に確認し、場合によっては自動露出機構そのものの使用を中止しなければならない。

おわりに

撮影に関する基本や詳細、注意点は、今回使用した参考図書および全国歯放射線連絡協議会ホームページ (<http://jort.umin.jp/>) を参考にしたい。

今回は、口腔・顎顔面領域の「一般撮影および規格撮影」である。

最後になりましたが、今執筆に際しご助言頂きました日本大学歯学部歯科放射線学講座の本田和也教授、橋本光二准教授に深謝いたします。

参考図書

- 1) 金森勇雄, 片木喜代治, 田中守, 他: 歯・顎顔面検査法. 医療科学社, 東京, (2002).
- 2) 古本啓一, 岡野友宏, 小林馨, 他: 歯科放射線学第4版. 医歯薬出版株式会社, 東京, (2006).
- 3) 西連寺永康, 瀧端孟, 他: 標準歯科放射線学. 医学書院, 東京, (2000).
- 4) 沢・黒柳錦也: パントモ撮影法第2版. 医学書院, 東京, (1984).
- 5) 中村正, 芝崎初江, 神田重信: 歯科放射線診断図譜. 大崎エントープライズ社, 東京, (1973).
- 6) 佐野司, 荒木和之, 勝又明敏, 他: 歯科放射線マニュアル改訂4版. 南山堂, 東京, (2006).
- 7) 片木喜代治: 回転パノラマX線撮影法.



図13. 左側の下顎頭だけが幅広く写ったパノラマX線写真



図14. 全体的に波打っているパノラマX線写真

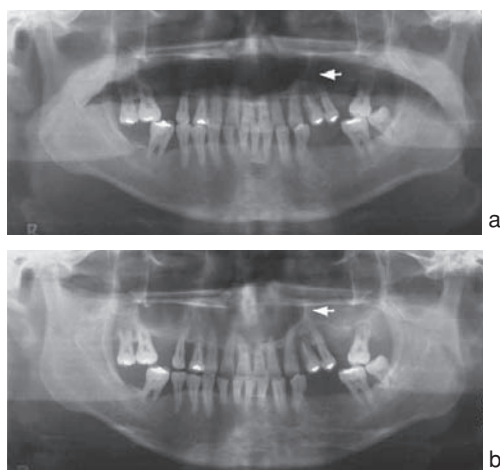


図15. (a) 舌を口蓋に付けていないパノラマX線写真
(b) 舌を口蓋に付けているパノラマX線写真

「東京放射線」7・8 月合併号のお詫びと訂正

「東京放射線」7・8月合併号の“連載誌上講座歯・顎顔面検査法”において一部の図に誤りがありました。正しくは下記の図のとおりとなりますので訂正いたします。

「歯・顎顔面検査法」

7・8 月合併号 23 ページ 図12

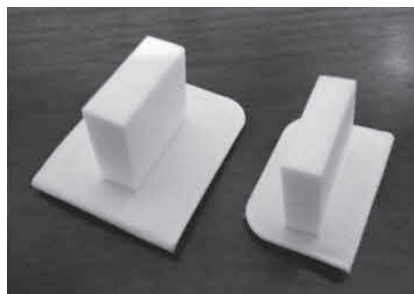


図12: バイトフラップ

左: 通常の検出器、右: 小児用の検出器
(2cm×3cm)

中央部にバイトフラップを貼り付ける

関係各位の皆さまに、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。 編集委員会

こ え

平成24年度診療放射線技師基礎技術講習 「一般撮影」に参加して

A.A

6月24日東放技研修センターで行った診療放射線技師基礎技術講習「一般撮影」に参加しました。会場は日暮里駅前の高層ビルの中でとてもきれいな印象でした。技師会でこのような研修センターを維持するのは大変ではないかと少し思いながら受付をしました。

係の方もたくさんおり、ご苦労様と思いました。その中でも講師を務められていた皆さまが、全員私と同じ診療放射線技師と後でわかったときは少し驚きました。

会場に入るとやや狭いと印象がありましたが、受講生がすべて着席するとさらに狭く感じました。

9時から講義が始まりました。最初は機器の講義でしたがとてもよく理解することが出来ました。2時間目からは現場に即した内容でとても楽しく勉強できました。分からないこと、初めて聞くこと、撮影方法の考

え方、読影の考え方などワンランク知識があがったような気がしました。自施設にない分野なども勉強することが出来ました。

試験については基本的な問題ばかりだったのでしょうが、私は思ったよりできが悪く自分の力不足を痛感しました。一般撮影は全ての放射線領域の基礎と言っていた先生がいましたが、1日を終了してまさにそのとおりだと思いました。どうしてもCT、MRなどに目がいきがちでしたが、一般撮影をしっかり勉強することは大事であると感じました。しかし一般撮影に関する勉強会は少なく、これからも技師会で一般撮影の勉強会をたくさん開催して頂きたいと思います。また今回は時間が足りず各先生も足早の講義でしたが、もう少し時間をかけて再度講義をお願いしたいとも思います。



城南支部研修会印象記

「Aiの重要性と今後の展望」を聴講して

帝京大学医学部附属溝口病院 池田麻依

Ai (Autopsy Imaging) という言葉を多くの人が耳にしたのはチームバチスタのドラマでしょう。技師会の学術大会でも取り上げられ関心が高まっている今話題のトピックスです。この城南支部研修会に集まった151人という数字が人々の関心を物語っていると思います。

Aiは2000年くらいから徐々に普及し始めて現在に至るまでには、監察医制度のない地域が殆どであること、遺族や病院側から解剖の同意が得られ難いこと等の背景があります。需要があるにも関わらず読影する放射線科医が圧倒的に少ないことや倫理上の問題、費用の問題など周囲からの協力が得られない障壁を乗り越えて今があるのだと、聞いて驚きました。改善していかなければならないことはまだまだあるようですが、ひとつひとつ解決し、Aiが今以上に普及していくことを願って止みません。

私が大変興味深いと感じたのは生前のCT画像と死後の画像の違いです。死後独特の画像を知らなければそれを病変だと診断してしまう可能性を秘めており、そこにも専門性が必要なのだと感じました。

今回の山本先生のお話を聴いてAiがどういうものなのかだけでなくAiの歴史や背景も知ることができました。話題のドラマ編集をも手掛け、講演で日本中から引っ張りだこの山本先生の講義を企画して下さった第4地区の皆様、JR東京総合病院の皆様、これから生かせる濃い時間をありがとうございました。

「Aiの重要性と今後の展望」に参加して

東京都済生会中央病院 安彦史弥

最近、ドラマで取り上げられたという理由もありAi (オートプシーイメージング)、日本語翻訳で「死亡時画像診断」という言葉を聞くようになった。しかしどのような場面でこのAiが使われているのかをあまり知らなかったため、今回の城南支部研修会に参加させていただいた。

医療現場での死因情報を得るために解剖を行うのだが、この場合では低迷状態が背景にあるのが現状であった。CTやMRIなどの画像診断機器を用いてAiを行うことが、外因死などが疑われる場合に特に有効であり、正確な死亡原因の判明や死亡診断書、死体検案書を作成することが可能となる。またAiを実施することで死因の判明だけではなく、医師あるいは看護師から遺族への死因に対する説明が今までより正確に行うことが可能となる。

今回の研修会でAiを行いその後の病理解剖が行われる場合には、病理画像の比較が正確にできることや、病理解剖を行っていない場合でも生前の画像との比較により病態の変化を確認することが可能となることを知った。

最後になりましたが、Aiを通じることにより病院側と遺族との関わり合いが今までより良好になっていくのではないかと感じた。

城南支部研修会に参加して

東京都済生会中央病院 中村友馨

5月に行われた城南支部研修会に初めて参加させていただきました。今回は「Aiの重要性と今後の発展」ということで、Aiという言葉聞いたことはありました。しかしAiがどういうものか、どういった役割をしているのか知らなかったため興味がありました。

「死亡時画像診断」なぜ撮影をして画像で診断するのだろう、解剖すればいいではないかと私は正直思いました。しかし家族を解剖される事は遺族にとって心苦しいところがあり、その解剖で満足いく結果が得られなければ遺族は納得がいかないことでしょう。そこで、Aiが生きてくると思いました。CTやMRIで遺体を傷つけずに死亡診断書などが作成できることは最大のメリットであると思います。

そしてAiを行うには診療放射線技師が不可欠であり、欠かせない分野になってくると思いました。また技師として幅が広がり、スキルアップに繋がるのではないかと感じました。また、山本先生の監修のテレビドラマで第一選択がMRIになっている理由の裏話まで聞くことが出来て面白かったです。また研修会に参加したいと思います。

城南支部研修会に参加して

虎の門病院 川内 覚

5月25日(金)にJR東京総合病院にて城南支部研修会が行われました。「Aiの重要性と今後の展望」というテーマのもと、Ai情報センター代表理事の山本正二先生からお話を伺いました。日本のAiの第一人者である山本先生の講演ということで、私自身とても楽しみに参加させていただきました。Aiの歴史やAi情報センターの概要、さらに国会で現在審議されている死因究明二法案の課題など、現在のAiが抱えている光と影の部分をととても分かりやすく解説してもらいました。

当院でも少ない症例ではありますが、Ai撮影を経験しており、今後さらに発展させるためには、臨床医、放射線科医、診療放射線技師等が情報を共有し、コミュニケーションをとることが重要であると思いました。

最後になりましたが山本先生ならびに会を企画して頂いた東京都診療放射線技師会の皆様に心より感謝いたします。



第12回日暮里塾ワンコインセミナーに参加して

公立福生病院 熊谷果南

平成24年6月30日（土）に第12回日暮里塾ワンコインセミナー「視覚的評価法と結果のまとめ方」が開催されました。

私は今年都内の技師学校を卒業したばかりであり、学校の授業や実習は簡易的だったためROC解析は難しく理解し難いという記憶が頭の中に残っていました。そこで日暮里塾ワンコインセミナーでROC解析が開催されると知り、学校で学んだ知識を更に深くそしてこれからの研究などに活かせるように、今回のセミナーに参加させて頂きました。

はじめに講師の先生からROC解析とはどういうものかというおおまかな説明をして頂いてから、実際にROC解析の実習を行いました。学校の授業と違い実際の画像を相手に評価をしながらの資料づくりなどは大

変難しかったですけど興味を持ってました。講師の永井先生はとても話し掛けやすく、ワンコインセミナーが少人数ということもあり質問などもでき、とてもわかりやすくROC解析を学びました。

今回の日暮里塾ワンコインセミナーは土曜日の開催ということもあり、遠方からでも行きやすいと感じました。ROC解析のセミナーは回数も少なく、開催場所が限られているので、様々な場所で数多く開催して頂けたらなとも思いました。

このセミナーを企画して頂いた実行委員の皆さま、わかりやすく丁寧な学習材料を作って頂き、とても有意義な講習をして頂いた講師の永井先生に感謝します。

今後の自分の活動に今回のセミナーの内容を活かしていきたいと思います。



NEWS ひろい読み

放射性抗体医薬品 富士フイルムが臨床研究

富士フイルムは2013年から米国で、放射性物質でがんを攻撃する放射性抗体医薬品の臨床研究を始める。同社の新型医薬品は免疫機能が衰えた患者にも効果が期待できるのが特長。米国の医療機関と協力して肺がん患者に投与し、正常細胞への影響の抑え方などを調べる。同社は販売承認申請のためのデータを集める臨床試験（治験）への早期移行を目指す。

通常の抗体医薬品は抗体ががん細胞などに結び付き、異常な細胞を攻撃するナチュラルキラー細胞（NK細胞）などの免疫細胞をがん細胞に呼び寄せる。従来の抗がん剤に比べ副作用が少ない半面、人が備えている免疫機能を利用したシステムのため、高齢者など免疫機能が弱った患者には効きにくい面もある。

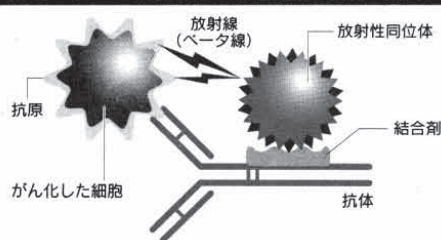
富士フイルムが計画している臨床研究では放射性抗体医薬品「ラジオアイソトープ（RI）標識抗体」を肺がん患者に投与する。RI標識抗体は抗体に放射線を発する放射性同位体を結合。がん細胞などに結び付くと同時に、異常な細胞を放射線で攻撃する。

事前に診断用のRI標識抗体を投与。抗体がきちんとがん細胞に集まるかを確認した上で治療の可否を決め、放射線による正常細胞へのダメージを最小限に抑える。標的とする細胞に抗体を集めることができれば、免疫機能が弱っていても効果が期待できるという。

臨床研究では薬剤ががん組織にうまく集まり、治療効果が表れているどうかを陽電子放射断層撮影装置（PET）で撮影した画像から確認する。臨床研究で得たデータを活用し、その後に予定している治験につなげる。

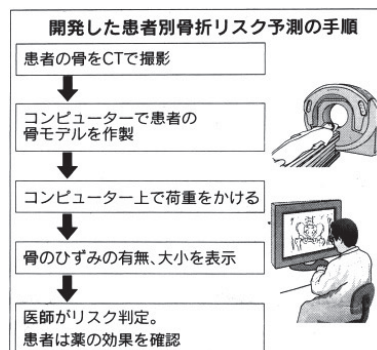
富士フイルムは子会社を通じ、独系のバイエル薬品から国内での販売権を得た悪性リンパ腫治療薬のRI標識抗体「ゼヴァリン」を販売している。ゼヴァリンは完全自己負担で利用すると医療費が約500万円と高額。富士フイルムのRI標識抗体は放射性同位体と結び付けるのに最適な抗体を独自に設計しており、適用疾患の範囲を広げるとともに、コストを抑えたい考えだ。（6.27日経産業）

富士フイルムが開発した放射性抗体医薬品の仕組み



骨粗しょう症 骨折リスク評価法開発/腰骨撮影し計算

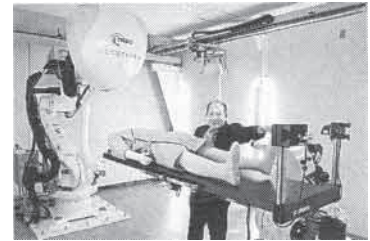
龍谷大学の田原大輔講師と金沢大学の坂本二郎教授らは、骨粗しょう症患者が骨折する危険度（リスク）や治療の効果を判断する方法を開発した。コンピューター断層撮影装置（CT）の画像からコンピューター上で骨の状態などを再現する。骨密度を使う現在の手法よりも精度が上がるとみている。実際の患者を使って検証し、10年以内の実用化を目指す。まず、患者の腰の骨（腰椎）をCTで撮影。形や骨密度などのデータをコンピューターに取り込み、正確な腰椎を再現した計算モデルを作る。日常生活で腰椎にかかる力を上下方向から加え、ひずみが生じる様子を色分けして画面に表示する。例えば、直立姿勢の場合、腰椎には約100キログラムの力がかかり、転倒したときには瞬間的に約900キログラムにも上昇するという。力が大きくなると、ひずみも増して細かな亀裂ができ、それらがつながると骨折する。新手法では、日常生活で起こりうる事故ごとに、腰椎の状態がどう変化するかを調べられる。治療効果も確かめられる。金沢大病院の整形外科グループと共同で4人の患者について臨床研究を実施。治療薬を飲み始める前と3年後の腰椎の状態を比べた。日常生活でもかかる100キログラムの力を加えた場合、治療前はひずみが大きく骨折しやすい部分が広範囲に見つかったが、3年たった腰椎では大幅に



減っていた。龍谷大の田原講師は「薬の効果を患者に実感させ、治療に対する意欲を維持するのにも役立つのではないか」とみている。今後、患者数を増やして精度を向上させ、早期の実用化を目指す。(6.14日経産業)

エックス線使う治療装置/初期のがん狙い撃ち

新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)と北海道大学などのチームは、直径1センチメートル程度の小さながんも、エックス線でピンポイント治療できる装置を開発した。ビームを細く絞り込み、照射の精度を上げた。初期のがん患者が入院しないで、1回の照射だけで治療を終えることも可能とみている。装置は患者を寝かせたベッドの周囲を、小型の加速器を載せたロボットアームが動き回り、全方向からエックス線を照射する仕組み。治療前に患部のそばに直径2ミリメートルの金の粒子を埋め込み、その粒子をもとにがん細胞の位置を正確に割り出す。呼吸で肺や胃などが動いても対応可能だ。加速器の長さは60センチメートルで従来の約半分。工業用ロボットアームを用いており、装置全体の価格は3億円程度に抑えられるという。従来の半額程度を実現した。レーザーを細く絞る際に発生する熱を水で冷やし、加速器の故障を防いだ。今後はエックス線の出力などの性能を確認し、来年度中に厚生労働省へ医療機器として承認申請する予定だ。(6.28日経産業)



MRI室用生体情報モニター/磁場強弱で使用制限なし

フィリップスエレクトロニクスジャパン(東京・港)は磁気共鳴画像装置(MRI)検査室で使用する生体情報モニター「インヴィボ・エクスプレッション」(写真)を発売した。世界で初めて磁場の強弱による使用制限をなくした。MRIは強力な磁力を発生し、通常の生体情報モニターではMRIに引き寄せられてしまう。生体情報モニターがMRIの画像のノイズ源となることもあり、MRI検査室専用の生体情報モニターが必要とされる。MRI検査室専用の生体情報モニターの中でも、磁場の強さによる使用制限があるのが一般的。だが、今回の機種はその制限をなくし、強力な磁場の場所でも使用できるという。(7.4日経産業)

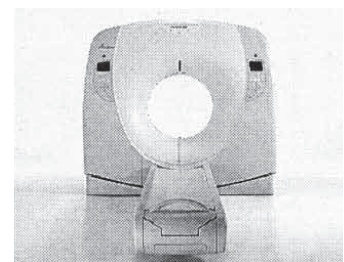


低炭水化物ダイエット/心筋梗塞、脳卒中の危険

炭水化物を制限する食事を長期間続けると、心筋梗塞や脳卒中になる危険性が高まるとの研究を、ハーバード大などのグループが英医学誌「ブリティッシュ・メディカル・ジャーナル」に発表した。炭水化物を減らすダイエットが日本でも広まっているが、慎重に取り組む必要があるようだ。同研究グループは1991~92年、スウェーデンの30~49歳の女性43,396人の食生活を調査し、その後平均約16年間、心筋梗塞や脳卒中などの発症を追跡調査した。1,270例の発症例を、炭水化物とたんぱく質の摂取量によって10段階に分けて分析。炭水化物の摂取量が1段階減り、たんぱく質の摂取量が1段階増えるごとに、それぞれ発症の危険が4%ずつ増えた。一般的に炭水化物を制限する食事では高たんぱく質になる傾向がある。低炭水化物・高たんぱく質のグループでは、そうでないグループに比べて危険性が最大1.6倍高まった。同誌に掲載された論評では、低炭水化物の食事は、食物繊維やビタミン、ミネラルを減らすとともに、高たんぱく質だとコレステロール、飽和脂肪酸などが増え、危険性が高まるのは不思議ではないとしている。国立国際医療研究センター(東京)の野田光彦糖尿病研究連携部長は「低炭水化物の食事の体重減少効果は、長期的な健康影響についてはあまり検証されておらず、注目すべき研究だ。日本人でも、健康への長期影響を検証することが必要だ」と話している。(7.7読売)

東芝メディカル、新型コンパクトCT

東芝メディカルシステムズは、小型コンピューター断層撮影装置(CT)の最上位機種「アレクシオンアドバンスエディション」(写真)を発売した。同シリーズの特徴である設置面積の小ささを引き継ぐ一方、高画質化のための性能を高めた。同機種は16列の検出器を備える。エックス線の照射源である管球の冷却効率を既存機種より高め、短時間で多くの検査をしたり、広範囲での連続撮影をできるようにしたりした。撮影画像の断面の厚さは既存機種の半分の0.5ミリとし、より高精細な画像を撮れる。本体と寝台を合わせた設置面積は10.4平方メートルとアレクシオンシリーズの既存機種と同じままにし、放射線量を低減できる画像処理システムも標準搭載した。小型の機器を求める開業医や診療所だけでなく、性能の高さを求める病院の2台目用途を対象に販売する。(7.10日経産業)





第6地区研修会

テーマ：CTの画像再構成 ～逐次近似法を理解しよう～

講 師：順天堂大学医学部附属練馬病院 木暮陽介氏

皆様、CT画像における再構成法の新潮流『逐次近似法』をご存知でしょうか？

CT装置の進歩は目覚ましく、画像再構成においてもフィルター補正逆投影法から逐次近似を利用した方法へと移行しており、被ばく線量低減など多くの可能性が広がっています。

今回6地区では、この画像再構成法『逐次近似法』について臨床画像に応用する為の基礎的な知識を習得したいと思います。日頃からCT検査に率先して取り組んでいる方は勿論、最新的话题を知りたいという方にもわかりやすくお話しして頂きます。ご参加いただければ大きな収穫があるはずです。

この研修会は非会員の方もご参加いただけます。皆さまお誘い合わせの上ご参加お待ちしております。尚、席に限りがございますので事前の申し込みを宜しくお願いいたします。

記

日 時：平成24年11月30日（金）19時00分～20時00分

場 所：公益社団法人 東京都診療放射線技師会 研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

アクセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

参 加 費：会員・非会員500円（当日徴収）、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

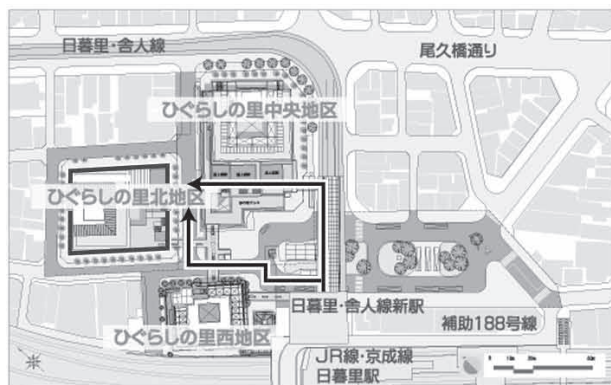
定 員：70名（先着順）

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌巻末の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXで申し込んで下さい。

問い合わせ：東放技 第6地区委員長 岡部博之 E-Mail area06@tart.jp

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



第28回



日本診療放射線技師学術大会



平成24年

9.28(金) ▶ 30(日)

名古屋国際会議場

主催／公益社団法人 日本放射線技師会

共催／社団法人 愛知県放射線技師会

後援／厚生労働省・愛知県・名古屋市(予定)

公益社団法人 日本放射線技師会 <http://www.jart.jp>
社団法人 愛知県放射線技師会 <http://www.aart.or.jp>

国民・医療者と協働し、
質の高い医療を提供しよう。

テクノロジーと
匠の融合



ごあいさつ

第28回日本診療放射線技師学術大会

大会長 佐野 幹夫

このたび、第28回日本診療放射線技師学術大会を平成24年9月28日～30日の3日間、名古屋国際会議場にて開催する運びとなりました。名古屋は日本のちょうど真ん中に位置します。名古屋に来れば日本の全てを見ることができるとさえ言われています。城下町に育まれた歴史豊かな文化の伝統、そしてトヨタに代表される自動車産業や航空機産業など日本のハイテク産業のメッカというまったく異なった風貌を合わせ持つ都市だからです。

また、名古屋は陸、海、空の交通の結節点とも言われ、名古屋駅にはJR、私鉄、地下鉄など鉄道網が集中しております。新幹線のぞみで東京から1時間半、大阪・京都から1時間以内で来ることができ、更に今回会場となる名古屋国際会議場へは中部国際空港から特急またはタクシーで約40分、都心からは地下鉄で約15分とアクセスはとても良好です。

本大会では(公社)日本放射線技師会からの継続企画として、市民公開講座、市民公開シンポジウムを軸に基調講演、公開特別講演、セミナーならびに一般演題400演題を目標に計画しております。メインホールであるセンチュリーホールは3012人を収容することができ、オーブンニング・市民公開講座を開催し、市民参加型を目指しております。

今回の大会テーマは「**国民・医療者と協働し、質の高い医療を提供しよう。**」であり、サブテーマを「**テクノロジーと匠の融合**」とさせていただきました。

現在、先進医療が注目され国民も関心が高く、医療従事者はこれまでの培われた技術を基盤に最先端の技術を駆使・工夫し提供することが求められるようになってきました。まさに「技術(テクノロジー)と工夫(匠)」が必要であり、この大会が研鑽の場となれば幸いです。

アクセス良好な名古屋のハイテク文化、歴史に触れながら、「出会いと情報の交流ステージが名古屋の地」となるよう関係者一同、会員の皆様方の多数のご参加をお待ちしております。今後、開催地の愛知はもとより中日本地域が一丸となって開催に向け取り組んで参ります。

これから皆様には、機会あるごとに学術大会参加に向けたお願いや情報提供をさせていただきたいと考えておりますので、宜しくご賛同とご協力をお願い致します。

超音波画像研究会からのお知らせ

1. 第226回定例会 ～20周年記念講演会～

発足20周年を記念し、MMGと乳腺エコーとともに日常業務とする立場からの現況報告と、第一線で放射線診療と学会活動等に活躍される先生、特に超音波検査を中心とした画像診断の未来についてご講演いただく会を実施する運びとなりました。当研究会会員以外でも広く多数のご参加をお待ち申し上げます。

日 時：平成24年9月29日（土） 14:40開場 15:00開演

会 場：公益社団法人 東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

アクセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

内 容：教育講演（15:10～16:00） 東京臨海病院 放射線科副技師長 藤井雅代 先生
『エコーってすばらしい！ ～MMGとUSとの対比～』

特別講演（16:10～17:20） 東京都済生会中央病院放射線診断部部長 金田 智 先生
『画像検査の現況と未来、コメディカルに望むこと ～超音波検査を中心に～』

参 加 費：500円（会員・会員外一律）

2. 第25回腹部超音波初心者講習会

超音波検査を始めよう、または始めて間もない医師・看護師・臨床検査技師・診療放射線技師の方を対象とした講習会を二日間の日程で開催いたします。初日は超音波画像の成り立ちや画質調整などの基礎編、各臓器のメルクマールとなる超音波解剖をわかりやすく解説致します。二日目は初日の講義を基に、実際にプローブを握って頂き、基本断面の描出を目指していただきます。

日 時：平成24年10月27日（土）14：30 ～ 28日（日）17：00

内 容：1日目（講義） 超音波の基礎（Bモード法・アーチファクトなど）

14：30～20：30 肝・胆・膵・腎・脾・門脈の解剖～基本走査法、代表的疾患のレクチャー

2日目（実習） 肝・胆・膵・腎・脾・門脈系における基本走査の習得

9：00～17：00 （5名前後／装置1台）

会 場：中央医療技術専門学校

東京都葛飾区立石3-5-12 電話 03-3691-1879 FAX 03-3691-1879

会 費：会員 20,000円（夕食、昼食含む）、非会員 25,000円（入会金、夕食、昼食含む）

定 員：25名（定員となりしだい受付を終了いたします）

そ の 他：申込が少数の場合は中止することもあります（費用は返却）。申込方法はメール（k_suga@ccmt.ac.jp）又はFAX（03-3691-9972）のみ。詳細はwebをご参照ください。

主 催



超音波画像研究会

Ultrasound & Medical Imaging workshop

<http://www.us-image.org/>

平成24年度

関東甲信越 診療放射線技師学術大会

「日本の今、医療界の今、そして未来へ」

日時 平成24年10月6日(土)・7日(日)

会場 栃木県総合文化センター

主催／(社)日本放射線技師会

(社)新潟県放射線技師会・(社)栃木県放射線技師会・(社)茨城県放射線技師会

(社)群馬県放射線技師会・(社)埼玉県放射線技師会

(社)千葉県放射線技師会・(社)東京都放射線技師会・(社)神奈川県放射線技師会

(社)山梨県放射線技師会・(社)長野県放射線技師会

実施／(社)栃木県放射線技師会

大会長／(社)栃木県放射線技師会会長 神山 辰彦

日本消化器画像診断情報研究会（日消研）第3回セミナー（大阪）開催

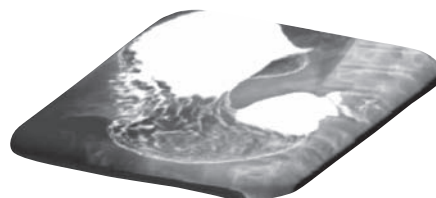
日本消化器画像診断情報研究会

会 長 埋橋 喜次

会員の皆様、日常業務の多忙のなか当研究会の活動に御支援御協力を賜り厚く御礼申し上げます。
このセミナーは、普段、研究会の企画に参加しづらい方々に出席いただけるように、内容も消化管の基礎を中心に構成しております。臨床や成書で感じている疑問や意見を著名な先生方にご指導いただき、今後の臨床にお役立てください。非常に内容の濃い構成になっております。是非とも皆様のお知り合いの方をお誘い頂き、ご参加頂きますようお願い申し上げます。

記

- 1 日 時：平成24年10月20日（土）13時30分より18時30分（受付12時30分～）
- 2 場 所：（財）大阪がん循環器病予防センター6階 講堂（TEL：06-6969-6711）
大阪市城東区森之宮1丁目6番107号
（地下鉄 中央線・長堀鶴見緑地線「森ノ宮」下車 ④号出口 東へ徒歩2分）
- 3 テーマ：“消化管X線検査学 基礎の基礎”
- 4 対象者：初心者・中級者を対象にした講演内容です。 定員：100名程度
- 5 講義内容及び講師予定
 - 1) 13：30～13：35 「会長挨拶」：練馬区医師会医療健診センター 埋橋 喜次 会長
 - 2) 13：35～14：00 「胃X線バリウム検査の安全性と危機管理」
堀井薬品工業（株）開発研究部 部長 前田 英彦 氏
 - 3) 14：00～14：30 「CTCの実技と注意点」
亀田総合病院附属幕張クリニック 村岡 勝美 技師
 - 4) 14：40～15：40 「新撮影法で見つかった症例とその解説」
神奈川県労働衛生福祉協会 理事 今村 清子 先生
 - 5) 15：45～17：00 「検診撮影で見落としはけないポイント—症例を中心に—」
東京都がん検診センター 消化器科部長 入口 陽介 先生
 - 6) 17：10～18：30 「胃癌の肉眼的・X線的形態と良悪性判定基準」
早期胃癌検診協会附属茅場町クリニック医長 吉田 論史 先生
 - 7) 18：35～ 閉 会 セミナー受講証 配布
 - 8) 19：00～ 情報交歓会（3500円別途徴収致します。）
- 6 会 費：日消研会員 1,000円 日消研非会員 3,000円
当日入会者 無料（但し、本年度研究会年会費として
3000円を頂戴いたします。）
- 7 申込／問合せ先：日消研第3回セミナー事務局
生長会ベルクリニック 婦木祐市（TEL：072-224-7296）
Mail：y_fuki@seichokai.or.jp
- 8 募集開始日：2012年6月より（定員になり次第締め切ります。）
上記アドレスのみ対応致します。まずは、メールにてご連絡ください。



News

9月号

日 時：平成24年5月26日（木）

午後5時00分～午後5時30分

場 所：日暮里ホテルラングウッド らんの間

出席理事：篠原健一、葛西一隆、白木 尚、石田秀樹、
関 真一、野口幸作、浅沼雅康、市川重司、
高坂知靖、大室正巳、江田哲男、森 俊、
安宅里美、眞田鮎子、高橋潤一郎、千葉利昭、
飯島利幸、大地直之、川崎政士

欠 席：小野口敦

議 長：篠原健一（会長）

司 会：葛西一隆（副会長）

議事録作成：雨宮広明（総務委員）

理事会定数確認

出席：19名、欠席1名

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

議 事

1) 各職務の選任の件

定款第21条に則り、別途資料（組織図）のに基づき、
会長を篠原健一、副会長に葛西一隆、白木 尚の2名、
業務執行理事に石田秀樹、関 真一、野口幸作の3名、
顧問に岩田拓治、國定忠彦、橋本 宏、中澤靖夫の4名を
提示し承認を行った。【承認：19名、保留：0名、否認0名】

連絡事項

1) 議事録署名に関して

第1回総会及び第3回理事会における議事録署名、印鑑
証明書及び就任承諾書等の各種書類を6月7日の第4回理
事会にて収集のこととする。

2) 東京都診療放射線技師会の名称使用に関して

総会での承認をいただいたので、東京都診療放射線技師
会という名称使用は可能だが、公的な部分に関しては登
記後とする。

イエローケーキ

「今年の新人くん」

今年は城が好きな子やモノマネが得意な子など、とても元気で個性豊かな5人の新人くんが入職しました。

新人が入職してくるこの時期は、自分もこんな感じだったのかなと、入職時の緊張感を思い出し初心に帰れる時でもあり、どの様に新人くん達を指導していくかを考える時でもあります。

自分が新人の頃は基本的な流れがわからないためスムーズに仕事をする事が出来ず、それを平然と行っている先輩方がすごく大きな存在に見えました。先輩たちに近づくには沢山の知識を習得することも大事ですが、より多くの経験をつむことが一番の近道だと数年の業務経験から感じました。そのため、新人くんには失敗を怖がらずに積極的に仕事をして欲しいと思う今日この頃であり、自分は先輩として新人くんがそのような姿勢で仕事を行えるようフォローをしていきたいです。

彼らにとっては、まだまだ緊張と不安の連続で落ち込むこともあると思いますが、めげないで欲しいです。がんばれば、必ずがんばった分だけ成長できます。

そして、新人くんが患者さんはもちろん周囲のスタッフにも信頼される、優しい診療放射線技師に成長するのを今から楽しみにしています。

トミー

News

9月号

日 時：平成24年6月7日（木）

午後6時45分～午後8時15分

場 所：公益社団法人 東京都放射線技師会事務所

出席理事：篠原健一、葛西一隆、白木 尚、石田秀樹、
関 真一、野口幸作、浅沼雅康、市川重司、
高坂知靖、大室正巳、江田哲男、森 俊、
安宅里美、眞田鮎子、高橋潤一郎、小野口敦、
千葉利昭、大地直之、川崎政士

出席委員長：平瀬繁男、岡部博之、田川雅人、鈴木 晋、
高林正人、原子 満、工藤年男、島田 豊

指名出席者：河内康志（総務委員）、雨宮広明（総務委員）、
矢野孝好（経理委員）、石上信雄（前理事）、
奥山恒敏（前管理支部士部会委員）

欠 席：飯島利幸（理事）、山田和孝（委員長）

議 長：篠原健一（会長）

司 会：葛西一隆（副会長）

議事録作成：雨宮広明（総務委員）

理事会定数確認

出席：19名、欠席1名

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

議 事

1) 日放技災害対策協議会委員の件

日放技より全国8地域から1名の災害対策委員選出依頼があり、南関東地域からは東放技からの推薦を打診されたため災害医療センターの武田聡司氏に依頼することについて審議を行った。【承認：19名、保留：0名、否認0名】

2) 平成24年・25年度東放技組織新体制の件

公益法人定款に基づき昨年度までの体制を移行する型式で組織図の変更を行った。委員会の名称をホームページ委員会が情報委員会に、福利調査委員会が厚生調査委員会に名称を変更した。また特別委員会として災害対策委員会を設置し、委員長として国立災害医療センターの武田聡司氏に依頼する。組織図変更と委員会名称変更、特別委員会設置について審議を行った。

質問：今後の理事会（運営委員会）の実施方法について変更ありますか。

回答：昨年度より現在の形式で行っています。今後も現体制で理事会等を開催する予定です。地区委員長の参加は運営委員会になりますが、情報伝達が円滑に行えるように支部でも検討していただきたい。【承認：19名、保留0名、否認0名】

3) 新入会に関する件

新入会10名、転入1名、転出2名、編入出2名、退会5名、2年間会費未納退会37名。【承認：19名、保留：0名、否認0名】

4) 研修会企画申請書の件

平成24年度医療画像情報精度管理士移行講習会（DVD視聴及び試験）について申請があり審議した。【承認：19名、保留：0名、否認0名】

連絡事項

総務委員会

- ・各事業は理事会承認を経ての実施となりますので企画申請書を提出し、実施後は報告書を提出して下さい。地区についての規程はありませんが同様にお願いします。また、時間的な制約がある場合は総務委員長に相談していただきメール等にて承認を行う方法を検討します。
- ・新任役員研修会の日程を検討しています。

庶務委員会

- ・退任届けを5月26日付けで前理事および前委員長は提出して下さい。
- ・新理事および委員長は承認承諾書と履歴書を提出して下さい。

編集委員会

- ・会誌6月号のお知らせにおいて施設名・申し込みアドレスに誤記がありました。7・8月合併号にて訂正文を掲載します。ホームページは訂正してありますので、参加申し込み者にはホームページの活用をお知らせ下さい。

地区質問、意見に関する事項

第3地区

- ・会員数増加のために現在地区にて新入会の方に声を掛けています。その際に、会費未納退会、退会の方が再入会する場合の会費は、日放技、東放技を合わせた金額を教えてくださいと質問があり教えていただきたい。

→金額について庶務が資料を作成しました。参考にして下さい。

2年間会費未納退会者で両会に再入会する場合は、日放技20,000円と未納会費2年分、東放技14,000円を合わせた金額になります。

未納なく退会されている方で両会へ再入会する場合は、日放技20,000円と東放技14,000円を合わせた金額になります。

第16地区

- ・現在、正規の理事会運営目的として理事会と理事会（運営委員会）に分けた理事会運営がされております。理事担当で無い地区委員長は技師会運営情報が少なく技師会役員として運営に参加している感が希薄になっています。技師会運営には地区の活性化運営がとても重要であり技

師会会員の意向を把握する重要な役員かと思います。また、専門部担当理事が増え地区担当理事が減ることは技師会運営として危惧する事と思います。今後の理事会を従来の地区代表者16名を含めた理事会（役員会）に変更できないでしょうか。

質問：地区委員長は1期2年のため参加回数が少ないと理事会のことが理解出来ないのではないのでしょうか。

回答：情報を支部・地区で共有する方法を検討していただき参加意識を高められるようにしていただきたい。

質問：経費削減のために委員長が理事会へ参加する回数が削減されたのでしょうか。

回答：経費のことだけではありません。

質問：交通費等の支給は必要ないので参加は可能でしょうか。

回答：理事会ですので一定の規則が必要だと思います。ご理解いただきたい。

→理事会開催についてご意見ありがとうございます。理事会は昨年度より今期の体制で行っております。理事、支部委員長と地区委員長がより連携を取ることで、支部と地区を活性化していただき東放技を支持していただければと思います。

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌にてご案内しますので必ず確認してください。

平成24年度

1. 学術研修会

☆第11回ウインターセミナー

平成25年 1 月

第15回メディカルマネジメント研修会

平成24年11月

2. きめこまかな生涯教育

第47回きめこまかな生涯教育

平成24年10月10日（水）～12日（金）

第48回きめこまかな生涯教育

平成25年 2 月 3日間

☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第14回日暮里塾ワンコインセミナー

平成24年 9 月25日（火）

☆4. 支部研修会

城北支部研修会

平成24年10月26日（金）

城東・城西・多摩支部研修会

5. 地区研修会

第 6 地区研修会

平成24年11月30日（金）

☆6. 第12回東放技・東京部会合同学術講演会

平成24年 9 月13日（木）

関連団体【後援】

平成24年度医療画像情報精度管理士移行講習会

平成24年 9 月 9 日（日）

第28回日本診療放射線技師学術大会

平成24年 9 月28日（金）～30日（日）

平成24年度関東甲信越放射線技師学術大会

平成24年10月 6 日（土）～ 7 日（日）

☆印は新卒新入会無料招待企画です。

（新卒新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう）

News

9月号

前回議事録確認

議事の平成24年・25年度東放技組織新体制の件について
委員会の名称を「福利調査委員会は厚生調査委員会に
名称を変更した」とあるが「福利調査委員会は名称の変
更を検討する」に修正する。

理事会定数確認

出席：19名、欠席1名

議 事

1) 日放技選挙管理委員会選出について

日放技より各地域へ選挙管理委員選出の依頼があり。東
放技より浅沼理事を南関東地域の選挙管理委員として推
薦する。【承認：19名、保留：0名、否認0名】

2) 静脈注射講習会の件

日放技より各地域へ静脈注射（針刺しは除く）講習会を
本年度に2回の開催をするよう依頼があり、神奈川県が
平成25年1月19日を希望するなか、東京都は第1希望を
平成24年11月18日、第2希望を平成25年1月20日とした
2回の開催を希望する。【承認：19名、保留：0名、否認
0名】

3) 新入会に関する件

新入会15名、転入3名、編入出2名、退会2名。【承認：
19名、保留：0名、否認0名】

4) 事業計画申請書に関する件

城北支部研修会を平成24年10月26日（金）に東京都診
療放射線技師会研修センターにて行う事業計画について
審議した。【承認：19名、保留：0名、否認0名】

日 時：平成24年7月5日（木）

午後6時45分～午後8時15分

場 所：公益社団法人 東京都診療放射線技師会事務所

出席理事：篠原健一、葛西一隆、白木 尚、石田秀樹、
関 真一、野口幸作、浅沼雅康、市川重司、
高坂知靖、大室正巳、江田哲男、安宅里美、
眞田鮎子、高橋潤一郎、小野口敦、千葉利昭、
飯島利幸、大地直之、川崎政士

指名出席者：武田聡司（災害対策委員長）

欠 席：森 俊

議 長：篠原健一（会長）

司 会：葛西一隆（副会長）

議事録作成：雨宮広明（総務委員）

連絡事項

総務委員会

・7月9日（月）に新役員の研修会を開催します。

庶務委員会

・新年度の役員・委員について委嘱状と役員・委員選出に
ついて（お願い）を配布します。

渉外委員会

・医療功労賞の推薦について、対象年齢が50歳以上であ
り、困難な環境下（離島、僻地、豪雪地）で15年以上
勤務されている方を推薦して下さい。また、会員・非会
員の確認は行います。

編集委員会

・会誌9月号の掲載原稿締切りは7月26日です。事業企画
等については総務委員長に相談して下さい。

広報委員会

・10月27日（土）町田健康まつり、10月28（日）中央ま
つり、11月3日（土）4日（日）大田フェスタが開催さ
れます。

学術委員会

・ワンコインセミナーを地区との合同で開催希望する場合
は相談して下さい。

災害対策委員会

・災害医療センターの武田聡司氏に委員長就任の挨拶をし
ていただきました。今後、災害対策委員を各5支部より
1名ずつ選出していただき、武田委員長による選出も若
干名加え委員会とする予定です。

地区質問、意見に関する事項

第6地区

・入会促進について、さまざまな啓発を行っている最中だ
と思います。その一環として、ワンコインセミナーによ
る新入会促進セミナーも行われ、その効果も上がった事

と思います。そこで確認ですが、昨年度・本年度の参加人数と参加者からの入会結果をお尋ねしたいと思います。また、労力に見合う結果が得られているのであれば、“セミナー開催場所を増やし”多くの技師に聞いていただく機会を増やす事は行ってはいかがでしょうか。

野口理事：昨年度と今年度の新入会促進セミナーについて、参加人数と入会者について報告します。昨年度は東放技のワンコインセミナー2回開催後のフレッシューズセミナーとなったこともあり、8名の参加で1名入会と1名入会済みでした。今年度のフレッシューズセミナーについては、まだ評価するには時期尚早と思いますが、現時点で50名参加して20名が入会及び申請中となっています。このフレッシューズセミナーは日放技と東放技の共催であり、複数回の開催に関しては、日放技との協議が必要でしょう。

会長：セミナーの開催場所について、フレッシューズセミナーは1日の講習会ですので定員が多いようであれば2回の開催を検討したいと思います。また各地域で開催したいと要望があれば検討します。

市川理事：サテライト開催のワンコインセミナーのように各地区で開催してもらいたい等の要望があれば積極的に相談して下さい。

- ・理事会議事録の記載について、本年度も昨年と同様な理事会方法で行う事が決まりました。地区委員長が参加出来ない会議には、理事会議事録がとても大事な資料になります。そこで、日放技でも行われるように発言者・回答者を匿名ではなく、理事名を記載していただけないでしょうか？

会長：今後は理事名、委員長名を記載し議事録を作成致します。

第14地区

- ・以前、千葉県放射線技師会では、国家試験を合格し数年後に入会する場合、合格してからの数年間分の会費納

入を行わないと会員になれない時期がありました。現在、東京都診療放射線技師会では、合格して何年経過していても合格期間からの会費を納入する必要はないでしょうか。また日放技、東放技、各道府県診療放射線技師会の技師会についても、合格期間からの会費を納入する必要はないでしょうか。

野口理事：以前に熊谷会長の際に、千葉県技師会にて免許取得してからの数年間分の会費納入を行わないと会員になれない時期があったようですが、現在の日放技では、そのようなことはありません。東放技でも同様です。これとは別に、会費未納退会者の再入会に関しては、会費未納期間の納入の義務があります。

会長：熊谷会長が日放技会長になった際にも日放技で同様の動きがありましたが、免許取得をしてからの数年間分の会費納入を行わないと会員になれないという提案は棄却され実施されておられません。したがって合格期間からの会費を納入する必要はありません。

小野口理事：東放技についての未納退会が再入会時に未納分を支払う規程は、現在までの方は無効で今後の方が対象でしょうか。

野口理事：そのようになります。

- ・某大学にて、卒業の際に講師の先生が、「技師会の入会会費等について合格期間からの会費納入の必要がある」と説明している話を伺いました。そのため、他の大学や専門学校で、誤った認識で説明をしないように周知徹底をお願いします。

会長：そのようなお話を聞きましたら正しい情報を伝えますので報告して下さい。

平成24年度5月期 会員動向

(平成24年5月)

総会員数		正会員						賛助会員					
年月	月末数	会員数	新入	転入	転出	退会	編入・入	会員数	新入	転入	転出	退会	編入・出
23年度集計	1986	1790	87	20	10	69	-8・+2	196			3	9	8・-2
H24.4	1993	1797	10	1		4		196					
H24.5	1997	1800	10	1	2	4	-2	197				1	2

新卒新入＝★

5月度	新入会(10名)	久保田 昌義	青葉レントゲン(株)	1 地区	
		成嶋 由理	芝病院	4 地区	★
		橋本 亜樹生	東海大学医学部附属八王子病院	13 地区	
		吉岡 達也	杏林大学医学部附属病院	13 地区	
		高野 智弘	昭和大学病院	8 地区	
		緒方 達哉	日本赤十字社医療センター	4 地区	
		渡辺 秀樹	JR東京総合病院	4 地区	
		熊谷 果南	公立福生病院	13 地区	★
		上野 紗弥佳	結核予防会第一健康相談所	1 地区	★
		岡部 奈穂子	城東社会保険病院	7 地区	
	転入(1名)	藪 晶子	国立国際医療研究センター戸山病院	3 地区	
	転出(2名)	佐山 洋	文部科学省科学技術・学術政策局 → 青森県へ	1 地区	
		村本 武司	伊藤病院 → 愛知県へ	4 地区	
	編入出(2名)	中川 貴博	蓮田よつば病院	16 地区	正 → 賛
		熊谷 芳幸	順天堂大学医学部附属浦安病院	14 地区	正 → 賛
	退会(5名)	立田 強		地区	賛
		坂尾 武彦	榊原記念病院	13 地区	
		菊地 滋	等潤病院	6 地区	
		横川 仁美	大久保病院	3 地区	
		大村 桃子	公立阿伎留医療センター	12 地区	

平成24年度6月期 会員動向

(平成24年6月)

総会員数		正会員						賛助会員					
年月	月末数	会員数	新入	転入	転出	退会	編入・入	会員数	新入	転入	転出	退会	編入・出
23年度集計	1986	1790	87	20	10	69	-8・+2	196			3	9	8・-2
H24.4	1993	1797	10	1		4		196					
H24.5	1997	1800	10	1	2	4	-2	197				1	2
H24.6	2013	1815	15	3		1	-2	198				1	2

新卒新入＝★

6月度	新入会(15名)	吉成 剛志	日本大学医学部附属板橋病院	9 地区	
		川内 隆	出版健康保険組合診療所	1 地区	
		永野 仁士	JR東京総合病院	4 地区	
		島野 賢	昭和大学病院	8 地区	★
		北川 久	東京慈恵会医科大学附属第三病院	13 地区	
		白滝 貴文	社会保険蒲田総合病院	8 地区	
		小平 彩加	昭和大学病院	8 地区	★
		福島 陽大	医療法人社団平郁会	4 地区	
		近藤 明美	せんぼ東京高輪病院	4 地区	
		山中 理華子	昭和大学病院	8 地区	★
		鈴木 克直	昭和大学病院	8 地区	★
		増田 哲史	昭和大学病院	8 地区	
		小塚 雪乃	豊島病院	9 地区	★
		勝又 翔太	昭和大学病院	8 地区	★
		森田 峻輔	昭和大学病院	8 地区	★
	転入(3名)	岡崎 孝晃	JR東京総合病院	4 地区	
		小笠原 光邦	津田沼中央総合病院	14 地区	
		若月 保志	旗の台脳神経外科病院	8 地区	
	編入出(2名)	菊地 克彦	重粒子医科学センター病院	14 地区	正 → 賛
		高野 智弘	昭和大学横浜市北部病院	15 地区	正 → 賛
	退会(2名)	鈴木 勝男		13 地区	
		山下 緑		14 地区	賛

東放技は積極的に参加します

ピンクリボンin東京2012

平成24年10月1日(月) 都庁都民広場

第7回総合健康づくりフェア

平成24年10月27日(土) 町田市健康福祉会館

中央区健康福祉まつり2012

平成24年10月28日(日) 中央区保健所

レントゲン週間イベント

平成24年11月3日(土) 横浜市クイーンズサークル

OTAふれあいフェスタ2012

平成24年11月3日(土)～4日(日)
平和島競艇場



医療法人社団 東京ハート会

TOKYO HEART

診療放射線技師急募

対 象：有資格者、向上心があり意欲のある方、女性技師歓迎

診療科目：内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科

勤務場所：東京都中央区日本橋本石町 3-2-12 社労士ビル 2F

勤務内容：一般撮影、透視検査、マンモグラフィー

勤 務：就業時間 早番 8:15～17:15 遅番 8:45～17:45

給 与：年棒制 400万以上 ★経験・能力により優遇します
※試用期間(最長)2ヶ月は時給1500円以上
昇給1回、交通費全額支給、社会保険完備、制服貸与

応募方法：下記担当者宛に履歴書を送付してください。書類選考後、面接の日程をご連絡します。

【アクセス】

- 銀座線・半蔵門線「三越前駅」徒歩3分
- JR総武線「新日本橋駅」徒歩4分
- 各線「神田駅」徒歩7分

〒103-0021
東京都中央区日本橋本石町 3-2-12 社労士ビル 2F

日本橋ハートクリニック

TEL: 03-5201-8100

URL: <http://www.tyo-heart.jp>

担当：森本

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

ふりがな	生年月日	日放技会員番号
氏 名	男・女	年 月 日
〒 現住所		
TEL		FAX
勤務先	第	地区
〒 勤務先 住 所		
TEL		FAX
参 加 申 込	第 回 に参加します	
期 間	平成 年 月 日 () ~	月 日 ()
備 考		
E-mail :		
連絡先	現住所・所属先	その他 ()

通 信 欄

自由なご意見・ご要望をお寄せください。

送り先FAX: 03-3806-7724

Postscript

オリンピックロンドン大会も終盤をむかえ帰国選手も増えてきました。日本ではメダル獲得順位は金メダルの獲得数から順位を並べています。諸外国ではメダル総数の順位で並べる国も少なくないようです。さて、金メダル獲得順では日本は13位タイ、総数では6位（の時点）です。総数ではアテネ大会を超えることでしょうか。

今回は団体競技・団体戦のメダル獲得が多いといわれています。個人種目では力やタイムが及ばなくてもチーム戦になると目を見張る結果が出ることもあるんですね。でも本当は各個人、十分に互角に戦える力は持っているんですが、結果に結び付かない事がありました。今回は絆効果とでもいうのでしょうか。人は皆、人と人は強く固く解けない絆をもってきているんですから。

日本人はプレッシャーさんに弱いといわれてきましたが、これからはキズナさんには強い日本といわれるようになっていただきたいです。

うれしい金メダル、銀メダル、銅メダル。悔しい銀メダル、銅メダル。悔いのない精一杯の戦いの末…、今回ばかりは2位ではダメなんですか？ いえいえ、立派なメダルです。

2020東京オリンピックを観たい

<kegani>

就職したばかりの頃は先輩に追いつけ追い越せと毎日勉強し、担当したモダリティの知識が適正かどうか、力試しも兼ねて講習会や認定試験など受けたものでした。

就職してはや〇年。最近は業務にも慣れ、良い意味で、身体が勝手に反応して動いてくれるようになり、悪い意味であまり頭を使わなくなっていました。

そこに同僚から『試験受けてみない？』とお誘い。はじめは正直めんどくさいと思いましたが、やってみるか！と受けて見ることにしました。データを取ったり、試験前日にあわてて夜中まで勉強したりして何だか新鮮でした。

そろそろ可否判定が手元に届く頃なのですが、結果や如何に!?

(fireagate)



東京放射線 第59巻 第8号

平成24年8月25日 印刷（毎月1回1日発行）

平成24年9月1日

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原 健一

編集代表 浅沼 雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月～金 9:30～17:00

案内 ただし土曜・日曜・休日・祭日および12月29日～1月4日までは執務いたしません

電話・FAX 東京 (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森 美加

中谷 麗

浅野 幸

柴山豊喜

平田充弘

高橋克行

■ 広告掲載社

医療科学社

コニカミノルタヘルスケア(株)

(株)島津製作所

シーメンス・ジャパン(株)

東芝メディカルシステムズ(株)

日本橋ハートクリニック

富士フイルムメディカル(株)